

令和5年度第1回地域公共交通活性化協議会 会議次第

日 時 令和5年7月18日（火）午前10時から午前12時
場 所 小金井市役所本庁舎 3階 第一会議室

- 1 あいさつ
- 2 委嘱状交付
- 3 委員の紹介
- 4 市事務局の紹介
- 5 会長、副会長の選任
- 6 議題
 - ① 諮問「地域公共交通計画（案）の作成」 …資料1
 - ② CoCoバスの再編について …資料2・3
 - ③ 地域公共交通計画の策定について
 - 地域公共交通計画とは …資料4
 - 小金井市の状況 …資料5
 - アンケート調査の実施について …資料6
- 7 報告
 - ① 路線バスの運賃改定について …資料7
- 8 その他
- 9 閉会

[配布資料]

- ・ 協議会条例
- ・ 資料 1 諮問書
- ・ 資料 2 令和 4 年度 CoCo バス利用実績等について
- ・ 資料 3 CoCo バス再編後の状況について
- ・ 資料 4 地域公共交通計画とは
- ・ 資料 5 小金井市の状況
- ・ 資料 6 各種アンケート調査の実施について
- ・ 資料 6 - 1 市民アンケート調査票
- ・ 資料 6 - 2 路線バス利用者アンケート調査票
- ・ 資料 6 - 3 CoCo バス利用者アンケート調査票
- ・ 資料 6 - 4 タクシー利用者アンケート調査票
- ・ 資料 7 京王電鉄バスグループ（多摩地区）の上限運賃変更認可申請について
- ・ 席次表 ※当日配布

小金井市地域公共交通活性化協議会条例

(設置)

第1条 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条の規定による地域公共交通計画（以下「地域公共交通計画」という。）の作成及び実施に関し必要な協議を行うとともに、道路運送法（昭和26年法律第183号）第9条第4項の規定に基づく地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な協議等を行うため、小金井市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 地域公共交通計画の作成及び変更に関する事項
- (2) 地域公共交通計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (3) 地域公共交通計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (4) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (5) 市が運営する有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (6) その他地域公共交通に関し必要な事項

(組織)

第3条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者 1人以内
- (2) 公共交通事業者等の関係者 11人以内
- (3) 関係行政機関の職員 3人以内
- (4) 市内に在住、在勤又は在学している18歳以上の者 9人以内
- (5) 市内の福祉関係団体の推薦する者 2人以内
- (6) 市の職員 2人以内
- (7) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

2 前項第4号の委員は、公募によるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日の属する年度の翌年度の末日までとする。

ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長が決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

5 協議会の会議は、公開する。ただし、公開することにより公正かつ適正な議事運営に支障を来すと認められるときは、協議会に諮って会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(部会)

第7条 協議会は、必要に応じて部会を置くことができる。

2 部会の委員は、委員のうちから会長が指名する。

(協議結果の取扱い)

第8条 協議会において協議が調った事項については、委員はその協議の結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域公共交通を所管する部課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、令和5年6月1日から施行する。

(準備行為)

2 第3条第1項の規定による委員の委嘱又は任命に関し必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

(特別職の給与に関する条例の一部改正)

3 特別職の給与に関する条例（昭和31年条例第22号）の一部を次のように改正する。

別表第3中

「

まちづくり委員会	委員長	日額	11,000円
	委員	日額	10,000円

」

を

「

まちづくり委員会	委員長	日額	11,000円
	委員	日額	10,000円
地域公共交通活性化協議会	会長	日額	11,000円
	委員	日額	10,000円

」

に改める。

小金井市地域公共交通活性化協議会 会長様

小金井市長 白 井 亨

小金井市地域公共交通計画の策定について（諮問）

小金井市地域公共交通活性化協議会条例第 2 条の規定に基づき、下記のとおり諮問
します。

記

諮問事項 小金井市地域公共交通計画の策定

令和4年度CoCoバス利用実績等について

1 令和4年度CoCoバス補助金について

(単位：円)

ルート名	(D) = (A) - ((B) + (C))				補助金額	収支率
	収入 (A)	運行経費 (B)	停留所設置等 (C)	収支 (D)		
北東部循環	39,620,337	51,125,070	0	△11,504,733	65,703,113	77.5%
貫井前原循環	17,498,569	41,864,404	0	△24,365,835		41.8%
東町循環	8,221,537	25,150,868	1,192,500	△18,121,831		31.2%
中町循環	12,848,776	24,559,490	0	△11,710,714		52.3%
野川・七軒家循環	6,616,239	23,955,816	0	△17,339,577	17,339,577	27.6%
合計	84,805,458	166,655,648	1,192,500	△83,042,690	83,042,690	50.5%

2 利用者数の経年比較

(単位：人)

ルート名	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	コロナ前(H30年度)とR4年度の比較
北東部循環	516,571	477,777	310,331	373,834	418,205	19.0% 減
貫井前原循環	220,400	209,010	150,644	165,104	184,665	16.2% 減
東町循環	104,495	95,686	61,804	72,185	86,760	17.0% 減
中町循環	153,183	151,073	105,854	119,308	135,620	11.5% 減
野川・七軒家循環	92,215	90,546	59,835	64,381	74,299	19.4% 減
合計	1,086,864	1,024,092	688,468	794,812	899,549	17.2% 減

3 収支状況の経年推移

(単位：円)

ルート名	項目	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
北東部循環	補助金額	△2,226,093	1,565,784	18,077,467	10,909,048	11,504,733
	収支率	104.8%	96.6%	62.2%	76.4%	77.5%
貫井前原循環	補助金額	15,039,404	15,666,864	22,453,836	22,733,153	24,365,835
	収支率	57.7%	55.1%	37.9%	40.8%	41.8%
東町循環	補助金額	10,947,712	11,513,453	15,441,439	16,408,754	18,121,831
	収支率	47.2%	43.8%	26.6%	29.4%	31.2%
中町循環	補助金額	5,454,986	5,881,229	10,972,686	11,388,003	11,710,714
	収支率	72.9%	70.5%	46.4%	49.8%	52.3%
野川・七軒家循環	補助金額	9,948,767	9,758,307	12,311,142	15,961,349	17,339,577
	収支率	46.2%	46.6%	30.7%	26.7%	27.6%
合計	補助金額	39,164,776	44,385,637	79,256,570	77,400,307	83,042,690
	収支率	72.3%	68.3%	44.7%	49.2%	50.5%

※収入は、広告収入も含む（野川・七軒家循環を除く）。

※運行経費は、日々の運行に必要な維持費及び車両償却費・ガードマンに係る費用の全てを含む。

※パーセンテージは、小数点第2位を四捨五入。

CoCo バス再編後の状況について

1 利用の状況について

1) 運行収支の状況

再編後、令和5年4月・5月と1年前の令和4年4月・5月での運行収入の差を比較する。

(1) 再編前後での運賃・料金体系の比較

令和5年4月の再編前後の運賃・料金体系の比較を以下に示す。

表 CoCo バス運賃・料金体系の比較

区分		再編前(～R5.3)	再編後(R5.4～)
一般運賃	大人	100円(IC:100円)	180円(IC:178円)
	小児		90円(IC:89円)
障害者運賃	大人		90円(IC:89円)
	小児		50円(IC:45円)
回数券		100円券21枚綴り 2,000円 (大人・小児1枚) ※2,100円相当。割引率4.7%	90円券35枚綴り 3,000円 (大人2枚・小児1枚) ※3,150円相当。割引率4.7%
高齢者割引※		(なし)	100円
1日乗車券		(なし)	500円/日

※高齢者割引は、支払い時に介護保険被保険者証を提示するか、高齢者回数券を使用することで受けられる

(2) 車内での運行収入

現金・ICカード・1日乗車券（令和5年度から）の車内での支払いによる運賃収入の差は以下のとおり。路線による差はあるものの、令和4年に対して令和5年は96.1%となっている。北東部循環や貫井前原循環では令和4年度に比べて車内での運賃収入が増加している。

	R4年度(4月・5月)					合計
	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環	
現金	2,094,819円	1,056,853円	509,893円	835,853円	777,801円	
IC	4,055,737円	1,517,438円	711,546円	1,060,420円		
1日回数券						
計	6,150,556円	2,574,291円	1,221,439円	1,896,273円	777,801円	12,620,360円

	R5年度(4・5月)					合計
	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環	
現金	1,030,667円	512,295円	168,287円	397,459円	374,273円	
IC	5,376,031円	2,215,782円	631,838円	1,396,483円		
1日回数券	5,903円	9,082円	1,363円	4,998円	-	
計	6,412,601円	2,737,159円	801,488円	1,798,940円	374,273円	12,124,461円

	R5年度/R4年度(4・5月)					合計
	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環	
現金	49.2%	48.5%	33.0%	47.6%	48.1%	
IC	132.6%	146.0%	88.8%	131.7%		
1日回数券	-	-	-	-	-	
計	104.3%	106.3%	65.6%	94.9%	48.1%	96.1%

(税抜きで掲載)

(3) 回数券による運行収入

回数券については切替があったため販売額が大きく増加している。

	R4年度(4月・5月)		合計
	京王バス	つくば観光交通	
回数券	1,254,549円	323,959円	
高齢者回数券			
合計	1,254,549円	323,959円	1,578,508円

	R5年度(4月・5月)		合計
	京王バス	つくば観光交通	
回数券	984,545円	16,363円	
高齢者回数券	6,639,091円	479,999円	
合計	7,623,636円	496,362円	8,119,998円

	R5年度/R4年度(4・5月)		合計
	京王バス	つくば観光交通	
回数券	78.5%	5.1%	
高齢者回数券			
合計	607.7%	153.2%	514.4%

(税抜きで掲載)

(4) 参考:ICカードの利用割合の変化

ICカードの利用割合を比較すると以下ようになる。各循環とも令和4年度は60%程度であったが、令和5年度には80%程度まで増加しており、ICカードの利用割合が20ポイント増加している。

	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	合計
R4年度(4月・5月)	66%	59%	58%	56%	62%
R5年度(4月・5月)	84%	81%	79%	78%	82%
増加割合	18%	22%	21%	22%	20%

※現金・IC支払い額をもとに、R4年度はそれぞれ100円、R5年度は現金180円・IC178円と設定して支払い人数を求め利用割合（ICカード支払者数/（ICカード支払者数・現金支払い者数の合計））を算出

2 利用者からの意見

運行サービスの変更に伴いこれまでに以下のような意見をいただいている。

1) 肯定的な意見

- 東町循環の新ルート（東町一丁目のならびが丘バス停及び東中学校（野川公園入口）バス停付近）による利便性向上

2) 課題事項

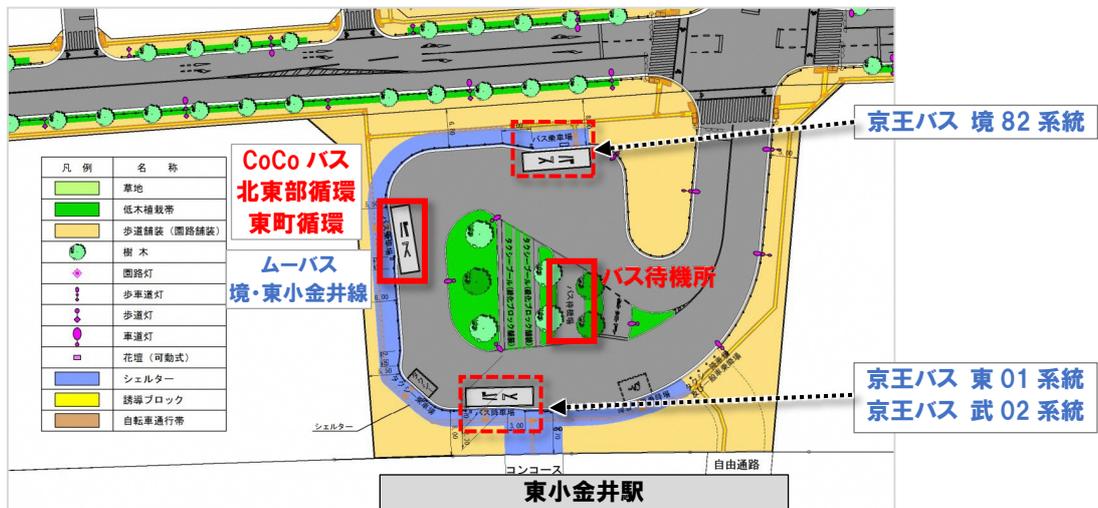
- 東町循環の東小金井駅について、跨ぎ利用時に、一旦降車しなければならないこと

【補足】

ひとつのバス停を3路線（北東部循環、ムーバス境・東小金井線、東町循環）で共有することになったが、時刻表のタイミング等が理由で、東町循環を跨ぎ利用する方には一旦東小金井駅で降車いただき、バスはロータリー中央の待機所で待機。発車時刻になったら、バス停へ着けた後、再乗車いただくこととなっている。

高齢者や障害者などから、バスの乗り降りや、立ったまま待っていることについて、身体的負担があるとの意見複数あり。

- 東小金井駅付近における回数券販売場所（ひがこ日和が週3定休日。バス停のある北口方面での販売。）



出典：東小金井駅北口まちづくり協議会「(第4次)中間とりまとめ」(令和3年8月)に加筆して作成

図 東小金井駅北口ロータリー配置図

3) 3月から現時点までの主な意見や問合せ

- 高齢者割引について
 - ・ 高齢者割引の受け方
 - ・ 介護保険被保険者証の再発行
 - ・ 介護保険被保険者証を年齢証明にした理由、他の証明書は使えないのか
 - ・ 貫井前原循環におけるシルバーパスの利用
- 回数券について
 - ・ 新回数券の販売場所、販売開始日
 - ・ 高齢者専用回数券を購入する際の年齢証明書
 - ・ 旧回数券の使用
- 障害者割引について
 - ・ 回数券は使えないのか
 - ・ ミライロ I D[※]、障害者用 I C の利用

※障害者手帳の情報などをスマートフォンで管理・表示できるアプリ

3 その他

料金収受に関して、以下のとおりの事象があったため報告します。

1) 運賃機の設定に係る不備について

令和5年4月1日の北東部循環（始発から計5便）において、運行事業者による運賃機設定の不備があり、I C 運賃178円が180円の設定となっていた。

始発の出庫中に発覚したため運転士は無線で連絡を取り、本社の指示により、不備が解消するまでの間に乗車する方には、①次回乗車時に I C で支払うか、②本日は現金で180円を支払うか、どちらかでの方法を案内したが、本日 I C での支払いを希望するとのことで、計24人の方が現金ではなく I C で支払っても180円となることを了承した上で乗車した。

その後、不備の原因が判明し正しく変更した。現時点において、市及び運行事業者への本件に関する問合せ等はない。

表（参考）CoCo バス運賃

区分		運賃
一般	大人	180 円 (I C : 178 円)
	小児	90 円 (I C : 89 円)
障害者	大人	90 円 (I C : 89 円)
	小児	50 円 (I C : 45 円)

※各種割引等は略

地域公共交通計画とは

1 地域公共交通計画とは

1) 策定の経緯

近年の人口減少の本格化、高齢者の運転免許の返納の増加、運転手不足の深刻化、公共交通を確保・維持するための公的負担の増加等により、公共交通の維持は容易ではなく、「民間の交通事業者が収益を確保できる形で公共交通を担う」という構造が難しくなっています。一方で、公共交通には以下のような特性があります。

- 地域における移動手段の維持・確保は、まちづくり、観光振興、健康、福祉、教育、環境等の様々な分野で大きな効果を有している
- 多様な関係者が連携し、地域の暮らしと産業を支える移動手段を確保することが重要
- 地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となって、地域戦略の一環として取り組んでいくことが重要

このような背景のもと、地域の移動ニーズを踏まえ、地域が自ら交通をデザインしていくことの重要性の高まりを受け、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正法が令和 2 年 11 月に施行され、「地域公共交通計画」の策定が努力義務として位置づけられました。

位置づけ後も、地域の関係者の連携等を促進するため、令和 5 年 4 月 28 日に内容の追加等が行われ改めて公布されています。

2) 策定の必要性

地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。地方公共団体が地域の移動に関する関係者を集めて、交通事業者や地域の関係者等との個別協議を重ねることで作成していくものです。

以下のような事項を施策として検討しながら、高齢者、来訪者でも利用しやすいサービスの提供を検討します。

- 従来のバスやタクシーといった既存の公共交通サービスを最大限活用
- 必要に応じて自家用有償旅客運送やスクールバス、福祉、病院、商業施設などの既存の民間事業者による送迎サービス、物流サービス等の地域の多様な輸送資源についても最大限活用
- 交通系 IC カードやキャッシュレス化、Wi-Fi の整備、MaaS、AI による配車、自動運転などの技術も最大限活用して生産性を向上



出典：地域公共交通計画等の作成と運用の手引き入門編（国土交通省）

3) 計画の内容

計画に記載する項目は以下のとおりです。

記載事項	概要
①基本的な方針	計画が目指すべき将来像と、その中で公共交通が目指すべき役割を明確化し、取組の方向性を定める。 また、まちづくり、観光振興等の様々な分野との連携を整理。
②計画の区域	当該地域の交通圏の範囲を基に計画の区域を設定。
③計画の目標	①の基本的な方針に即して目標を設定。
④事業・実施主体	目標達成のために提供されるべき地域旅客運送サービスの全体像・具体的なサービス水準を定める。 併せて、その実現に必要な事業・実施主体を整理。
⑤計画の達成状況の評価	達成状況の評価計画と評価を踏まえた見直し方針を立てる。
⑥計画期間	原則 5 年程度。地域の実情に合わせて設定。
⑦その他	その他、基本方針に基づき記載すべき事項があれば記載。

出典：地域公共交通計画等の作成と運用の手引き入門編（国土交通省）より作成

2 都内自治体の策定状況

全国では、令和 5 年 4 月末時点で 850 件が策定されています。なお、東京都内では、8 件が策定済みです。

東京都内

東京都・中央区・港区・江東区／東京都・港区（東京メトロ南北線）／東京都・江東区（東京メトロ有楽町線）／江戸川区／多摩市／武蔵野市／青梅市／杉並区

3 小金井市での計画策定について

前に示した、地域公共交通計画の策定意義のもと、以下を考慮して検討を行います。

- コミュニティバス再編後（令和 4 年 8 月再編計画策定、令和 5 年 4 月再編運行開始）の市内の地域公共交通の在り方を示す
- 持続可能な地域公共交通ネットワークを構築し、鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシー・その他の交通体系全体を活用する
- 市民をはじめとする人々の移動の利便性を向上させる

1) 策定のスケジュール

※別紙参照

令和5年度・6年度の2か年に渡り検討を行い、令和7年3月の策定を目指します。

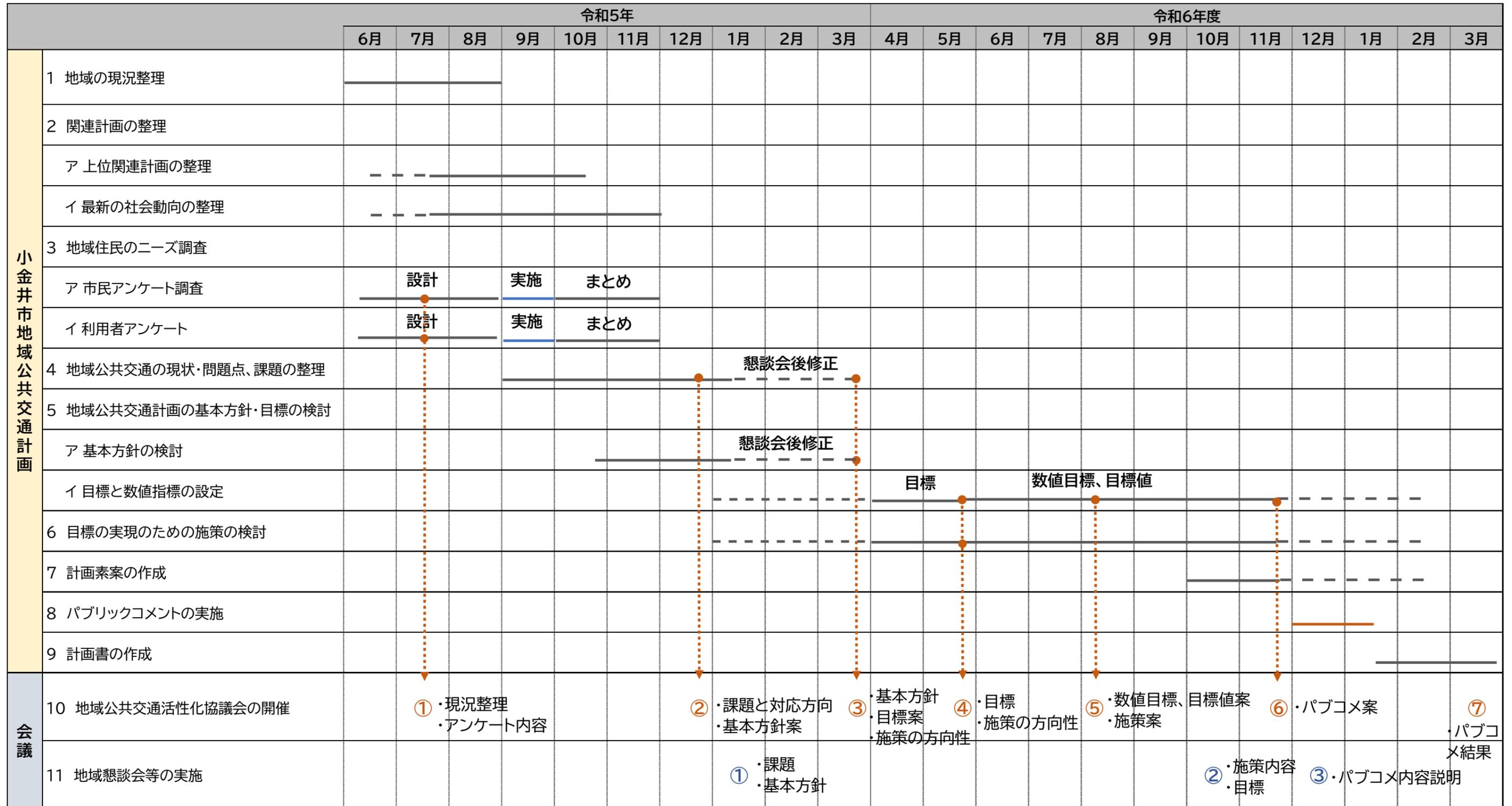


図 策定のスケジュール

小金井市の状況

1 整理項目について

小金井市の地域公共交通の状況を把握し、課題整理に向けた分析を行うため、地域の現況について整理を行います。

構成としては、現状の分析として、基礎的な情報の地形や人口動向、人口分布、施設配置、人の移動特性等による「小金井市の地域特性」を整理したのち、鉄道、バス、タクシー等のサービス状況、利用状況等による「小金井市内の交通の現況」について整理を行う形としました。これらの項目については下表にてまとめており、今回報告する事項については2章に記載しています。

また、交通分野での国・社会の動向をについて3章にてまとめております。

表 現況整理項目の現状と報告事項について

項目	分析・把握内容	今回報告
1) 小金井市の地域特性		
地形	高低差	○
施設配置	主要施設の整理	○
人口動向	将来人口動向(人口・高齢化)	○
人口分布	市内人口の状況(分布、高齢化率)	○
人の移動特性	周辺市区との移動状況、来訪者の内訳	○
観光	観光入込客数	
道路状況	主要道路の幅員構成の確認	○
	都市計画道路の状況、自転車通行空間、駐輪場の状況	
交通事故状況	交通事故発生状況(年代別・手段別)	○
免許保有状況	免許保有状況、保有状況別行動特性	
混雑状況	幹線道路の混雑度	
2) 小金井市内の交通の現況		
鉄道	駅別利用者数推移	○
民間路線バス	路線網	○
	利用者数	
コミュニティバス	路線網、利用者数推移、市の補助額	○
バス停環境	上屋、ベンチ等	
公共交通不便地域	公共交通不便地域	○
タクシー	事業者	○
シェアモビリティ	ポートの位置	○
	利用者数	
自家有償運送	運行状況(系統数、発着地、利用者数)	
送迎バス	運行状況(スクールバス、病院バス、施設バス)	

表 国・社会の動向について

項目	項目
新たなモビリティサービスの実装に向けた展開	MaaS/自動運転
持続可能な社会に向けた展開	SDGsの推進/カーボンニュートラルの推進
超スマート社会の推進	Society5.0/デジタル田園都市構想
公共交通を取り巻く状況	バス・タクシー等運転手の勤務時間の見直し/共創による地域交通形成支援事業の創設/エリア一括協定運行事業の創設/地域公共交通の「リ・デザイン」

2 小金井市の現況

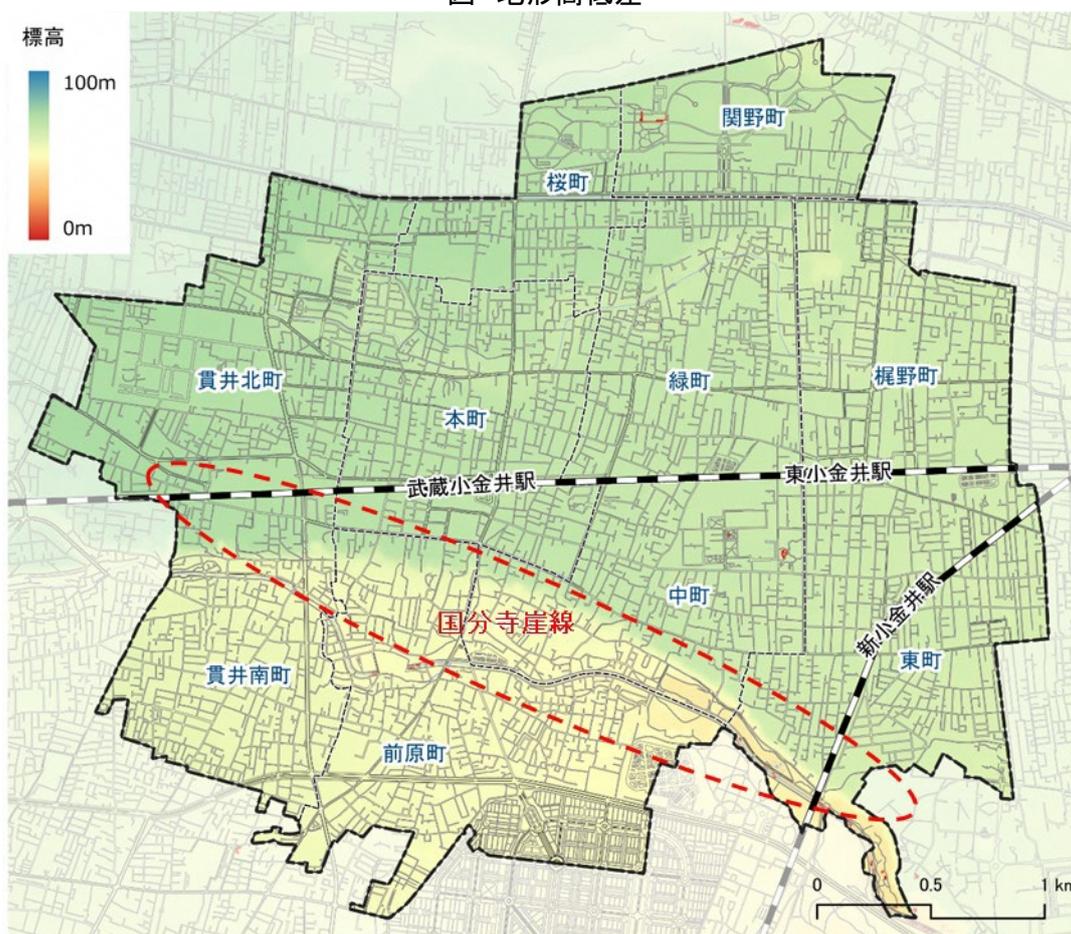
2.1 地域特性

2.1.1 地形

小金井市の地形について、市北部から東部の鉄道沿線地域は、ほぼ平坦であり、市南部地域は、中町の南部、前原町、貫井南町の北部に、立川から始まり野川、多摩川に沿って田園調布付近まで続く国分寺崖線が市を東西に横断しています。崖線の北地域で、標高65～70mであり南部では50～55mと高低差はおおよそ15mあります。

鉄道駅は市内の高地に位置するため、低地である貫井南町、前原町、中町の一部から駅へのアクセスは崖線を越えた南北の移動が発生し、自転車、徒歩での移動負荷が高い状況です。

図 地形高低差



(出典：国土地理院「基盤地図情報」より作成)

2.1.2 施設配置

1) 主要施設の整理

市内の施設配置について、公共、商業施設は駅を中心に点在。観光は野川、国分寺崖線の地域や北部、医療施設については、駅から離れた南部の地域にも点在している状況です。

図 施設配置図(※令和1(2019)年時点)

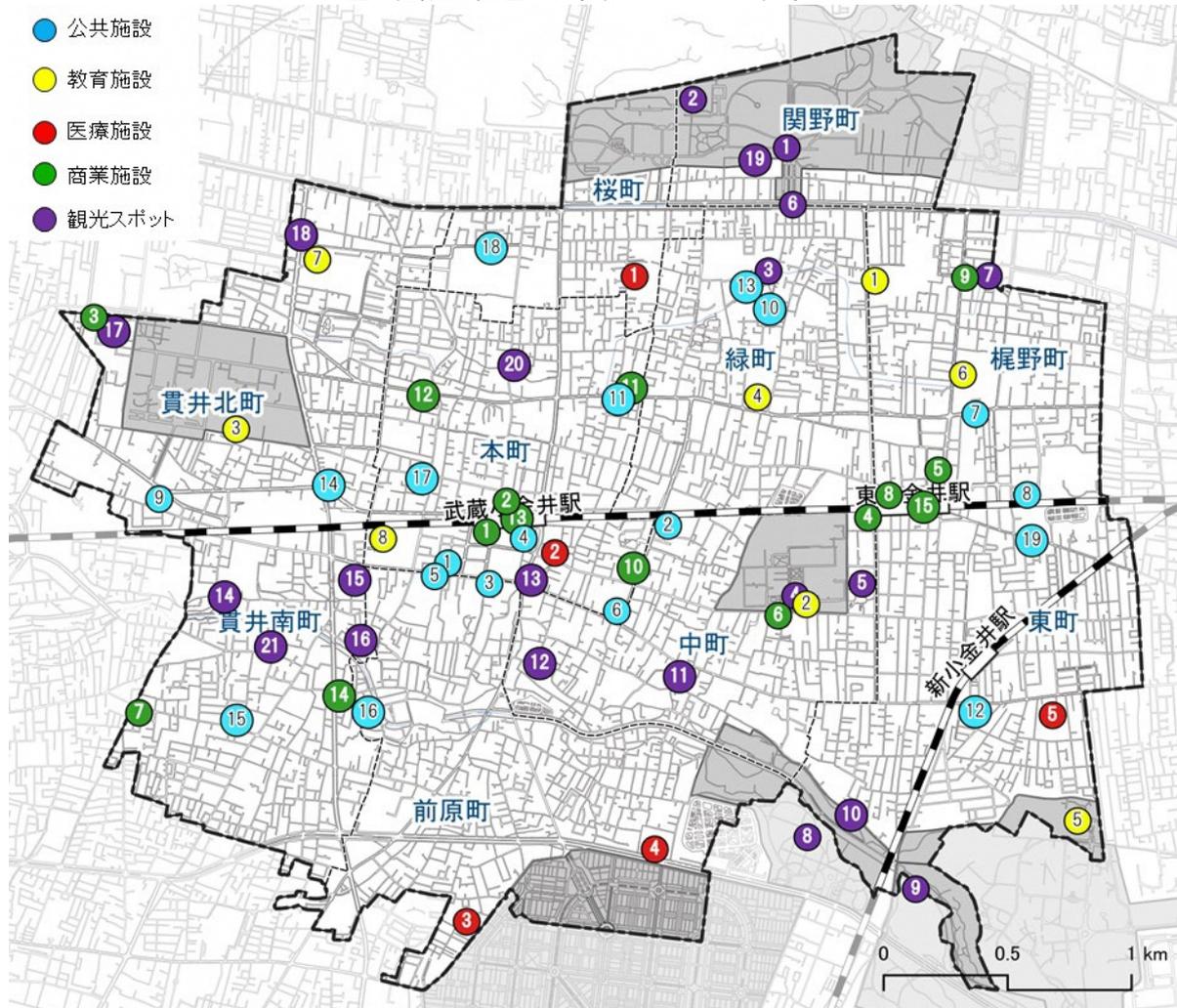


表 施設一覧(※令和1(2019)年時点)

公共施設		5 武蔵野中央病院	8 小金井工業高校、 多摩科学技術高校
1 小金井市役所	商業施設		観光スポット
2 新庁舎(予定)	1 イトーヨーカドー武蔵小金井店	1 小金井公園	
3 市役所第二庁舎	2 MEGAドン・キホーテ	2 江戸東京たてももの園	
4 宮地楽器ホール	3 オリピック小金井店	3 浴恩館公園	
5 市民会館	4 ピーコックストア東小金井店	4 東京農工大学科学博物館	
6 図書館本館	5 マルエツ東小金井駅北口店	5 栗山公園	
7 婦人会館	6 いなげや小金井中町店	6 玉川上水	
8 児童発達支援センター	7 いなげや小金井貫井南店	7 梶野の築樋	
9 保健センター	8 魚勝・グレース	8 都立武蔵野公園	
10 障害者福祉センター	9 オーケー梶野町店	9 都立野川公園	
11 公民館本館	10 オーケー武蔵小金井店	10 はげ(国分寺崖線)	
12 東センター	11 いなげや小金井本町店	11 市立はげの森美術館	
13 緑センター	12 ダイエー小金井店	12 小金井小次郎の墓	
14 貫井北センター	13 nonowa武蔵小金井店	13 黄金の水	
15 貫井南センター	14 コープみらいぬくい坂下店	14 湧水の道	
16 前原町西之台会館	15 nonowa東小金井	15 滄浪泉園	
17 上之原会館	教育施設		16 花と緑の古径
18 桜町上水会館	1 法政大学工学部	17 情報通信研究機構	
19 東小金井駅開設記念会館	2 東京農工大学工学部	18 ラーメン街道	
医療施設		3 東京学芸大学	19 川崎平右衛門供養塔
1 桜町病院	4 小金井北高校	5 国際基督教大学高校	20 遊歩道北2号線
2 小金井太陽病院	5 国際基督教大学高校	6 東京電機大学高校	21 閻魔堂木造閻魔王坐像・イイギリ
3 小金井病院	6 東京電機大学高校	7 中央大学附属高校	
4 小金井リハビリテーション病院	7 中央大学附属高校		

2.1.3 人口動向・分布

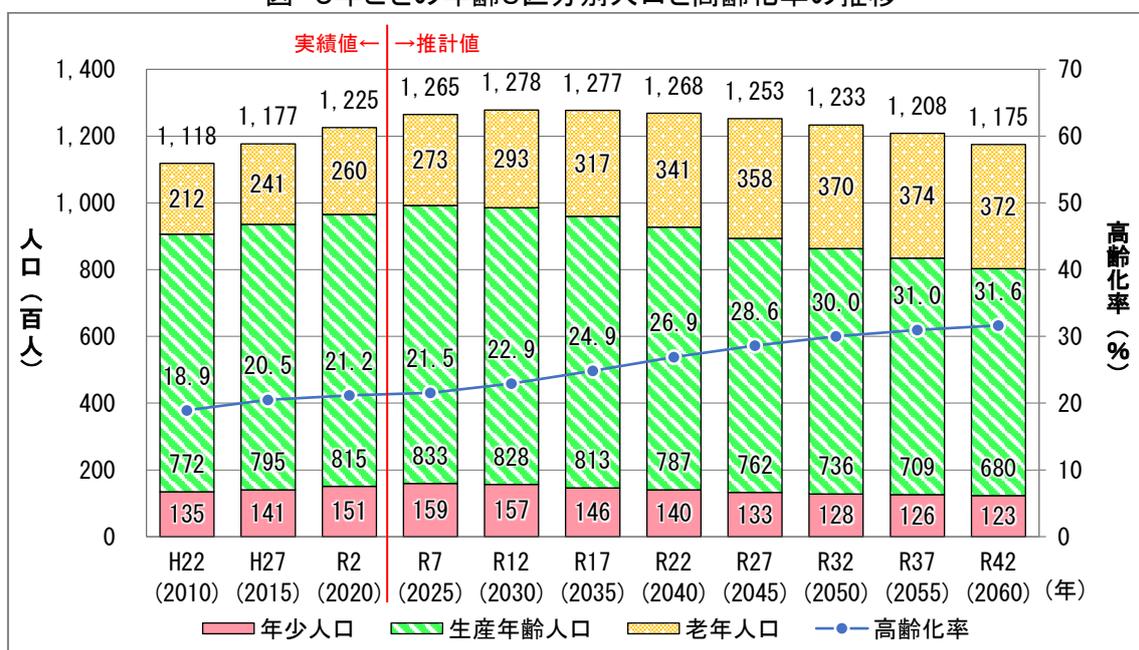
1) 将来人口動向

小金井市の総人口については、令和2（2020）年頃まで実績値で増加傾向にあり、その後も緩やかに増加すると推測され、令和12（2030）年頃に約12.8万人のピークを迎え、以後徐々に減少に転じることが予測されています。

年少人口（0～14歳）、生産人口（15～64歳）は令和7（2025）年頃をピークとする一方、老年人口（65～歳以上）は今後も増加傾向が続く見込みです。

高齢化率は、令和5（2023）年現在21.4%であり近年増加傾向にあるとともに、将来も増加が続く推測であり、令和42（2060）年には約31.6%となり、おおよそ3人に1人が高齢者となる時代が到来すると見込まれています。

図 5年ごとの年齢3区分別人口と高齢化率の推移



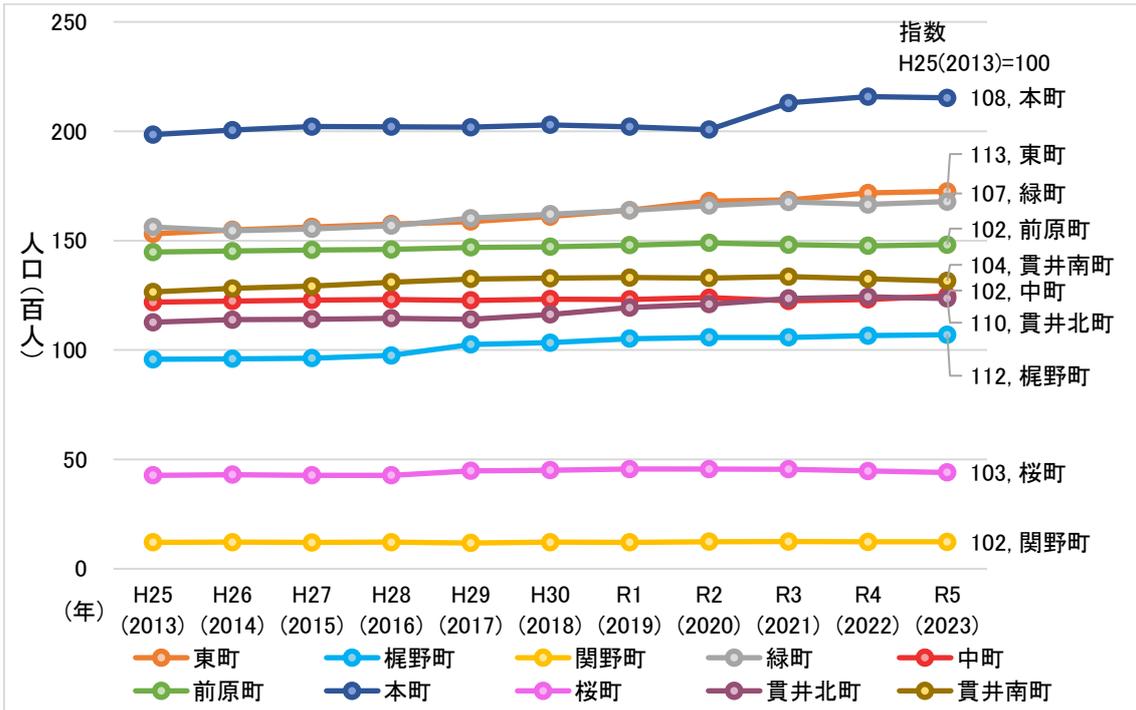
(出典：住民基本台帳データと小金井市人口ビジョンより作成)
※実績値は各年4月1日現在のデータ

2) 人口分布

小金井市の人口分布は地域別に見ると、本町の人口が一番多く、次いで東町、緑町となっており、駅周辺地域の人口が高い傾向にあります。一方、人口が少ない地域は、関野町、桜町となっており、市北部に集中しています。また、国分寺崖線を挟んだ低地となる前原町、貫井南町も市全体で見ると人口は中位となります。

高齢化率の分布を見ると貫井北町の東京学芸大学の周辺地域が極端に低い傾向にありますが、全体としては駅周辺地域が低く、周辺に離れるにつれ徐々に高くなっていく傾向にあります。

図 市内地域別人口推移



(出典：住民基本台帳データより作成)
※実績値は各年4月1日現在のデータ

図 位置図

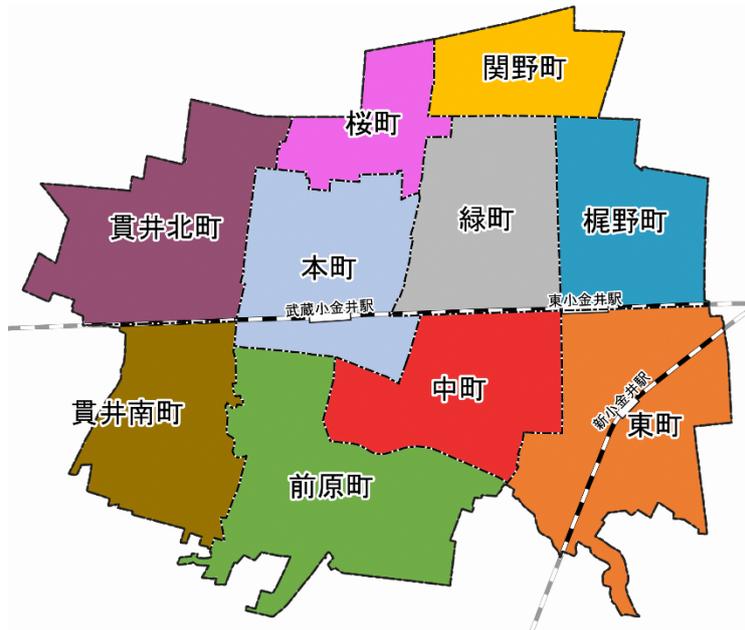
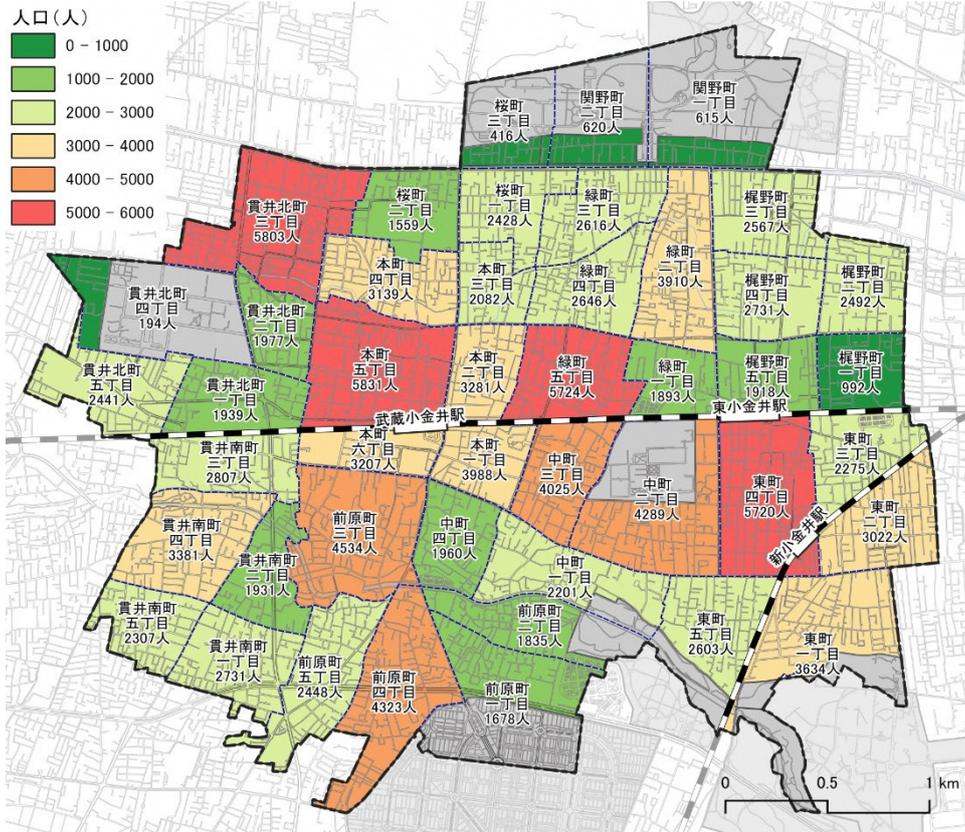
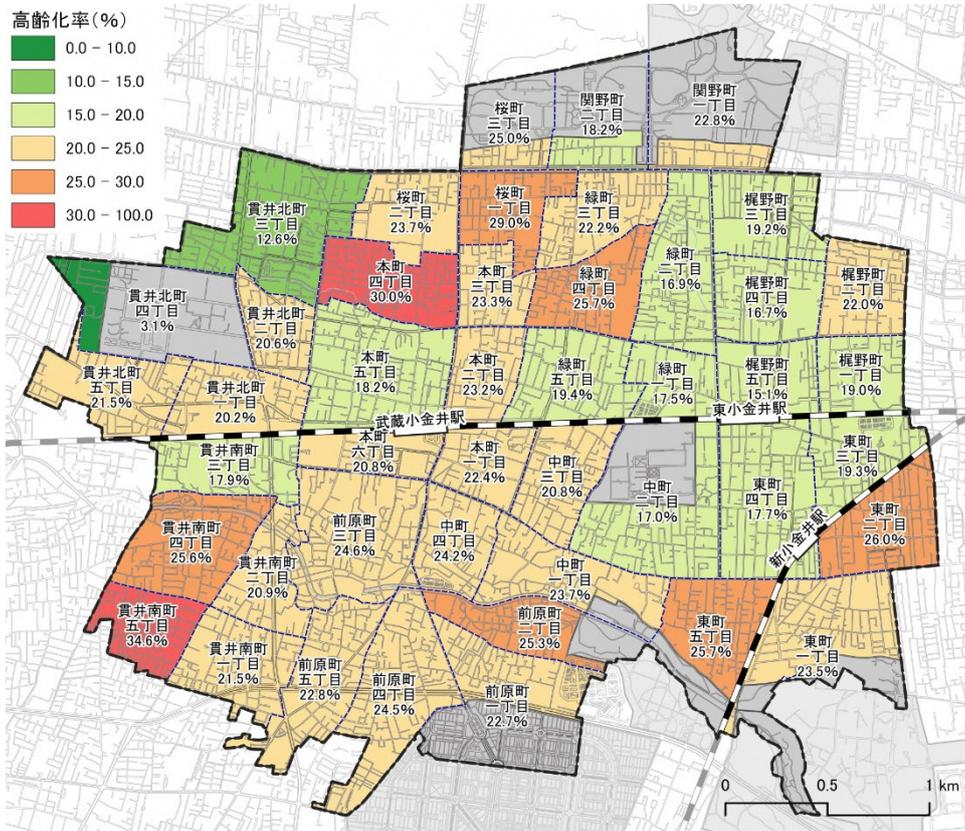


図 人口分布(令和5(2023)年4月)



(出典：住民基本台帳データより作成)

図 高齢化率分布(令和5(2023)年4月)



(出典：住民基本台帳データより作成)

2.1.4 移動特性

1) 通勤・通学

通勤・通学の流動について、国勢調査（令和2（2020）年）によると、全体として通学については小金井市から他地域への流出より流入が多い傾向にあり、一方、通勤については、他地域からの流入より流出が多く特に中央線沿線の千代田区、新宿区など特別区への通勤人口が多く一般的なベッドタウンの傾向を示しています。他方、小平市、国分寺市など隣接する地域や特別区以外の多摩地域からは流入する人口が多くなっています。

移動交通手段を見ると、市内の通勤・通学は徒歩、自転車の利用率が高く、鉄道・電車やバスの利用が低い傾向にあります。市外への通勤・通学は鉄道・電車の利用率が非常に高く、80%以上の人が鉄道を利用しています。また、鉄道利用の端末交通は徒歩とする人が7割を占めます。市外からの通勤・通学は、鉄道・電車の利用率が高いことは同様ですが、自転車の利用も多い状況です。

図 通学人口(令和2(2020)年)

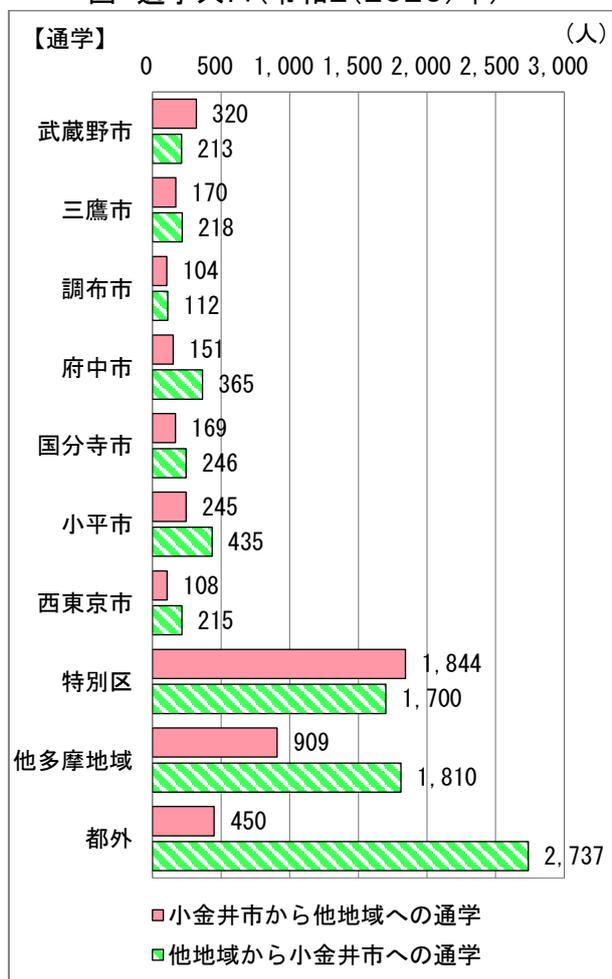
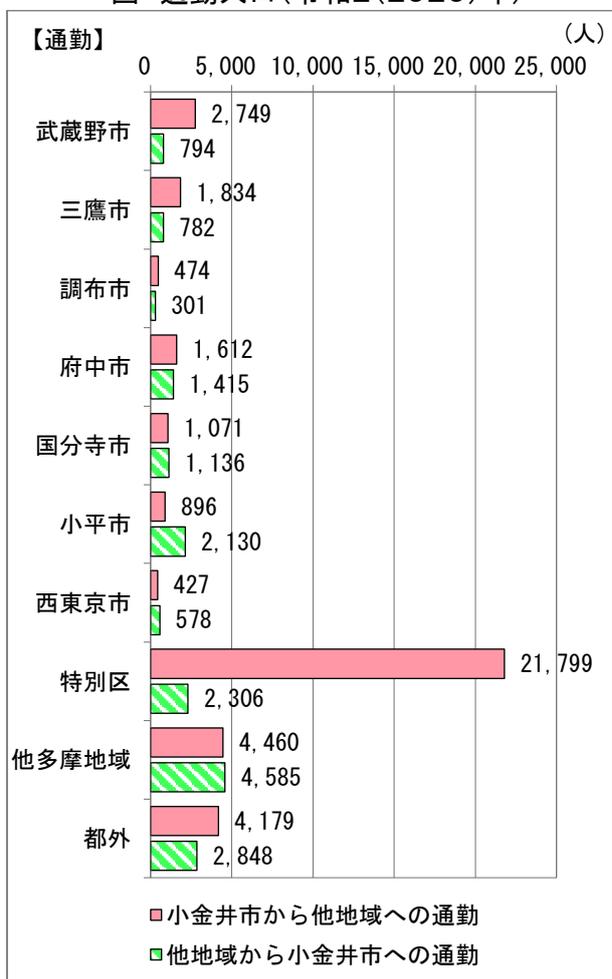
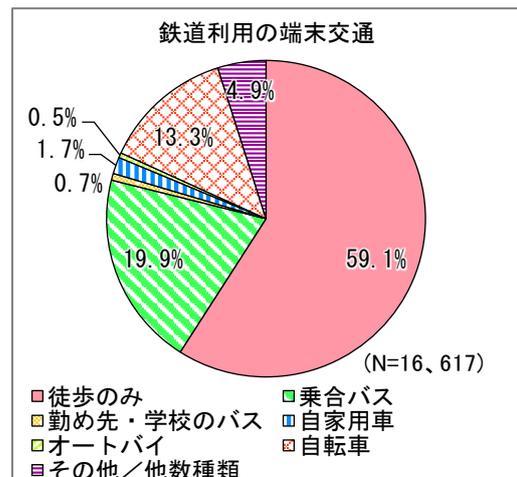
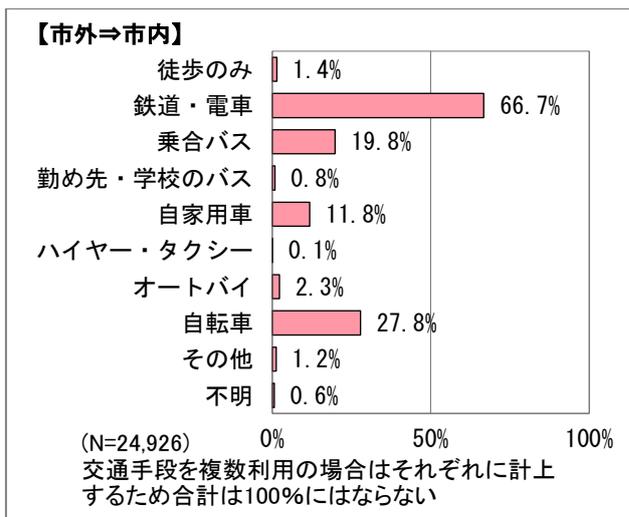
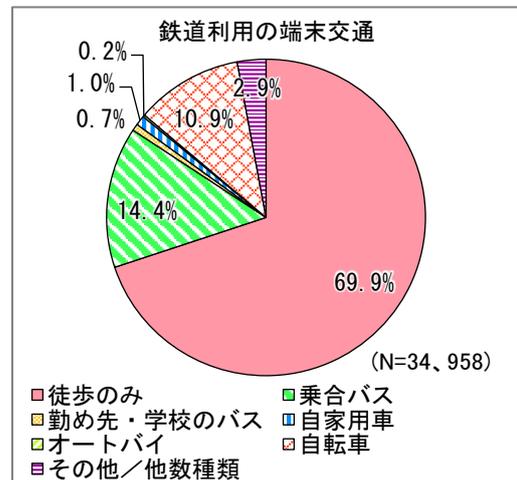
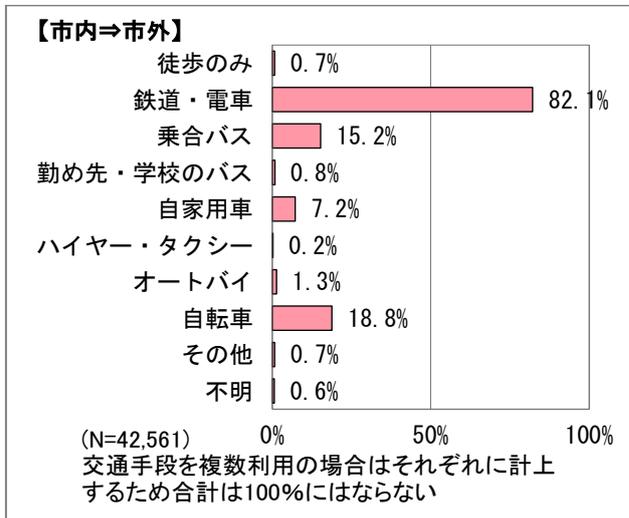
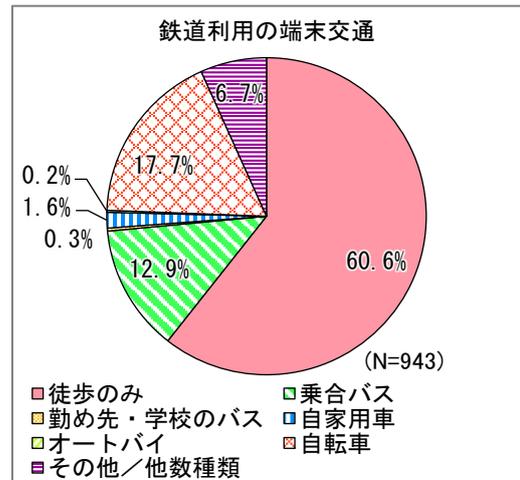
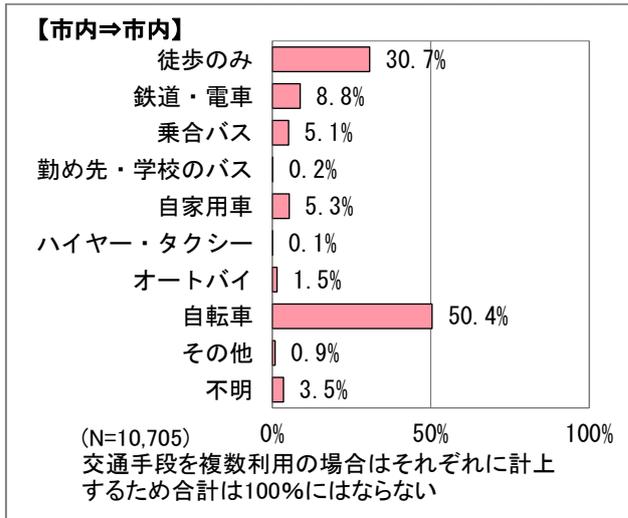


図 通勤人口(令和2(2020)年)



(出典：令和2（2020）年国勢調査より作成)

図 小金井市における通勤・通学の利用交通手段(令和2(2020)年)



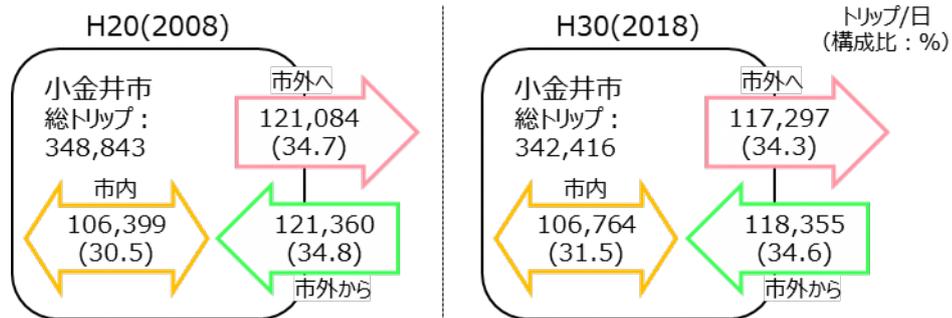
(出典：令和2(2020)年国勢調査より作成)

2) 移動の目的

第5回東京都市圏パーソントリップ調査（平成20（2008）年）と第6回調査（平成30（2018）年）における小金井市の市内々、市内外のトリップ数を比較すると、通勤、通学、帰宅が増加し、業務、私事が減少しています。

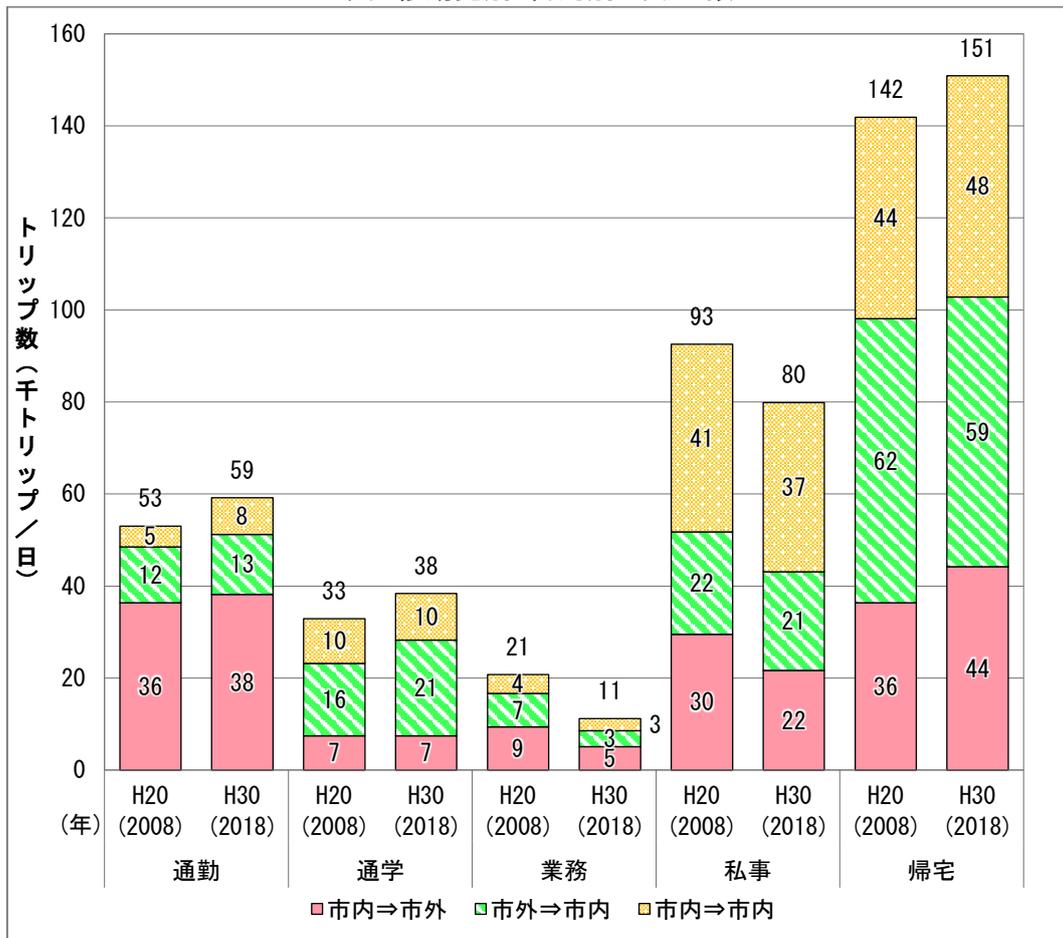
通勤については、市内々、市内外のトリップ数が増加している一方、通学については市外から市内へのトリップのみ増加しています。また、私事目的のトリップは減少しており、特に市外へのトリップが大きく減少しています。

図 移動先別トリップ数



（出典：東京都市圏パーソントリップ調査より作成）

図 移動先別・目的別トリップ数

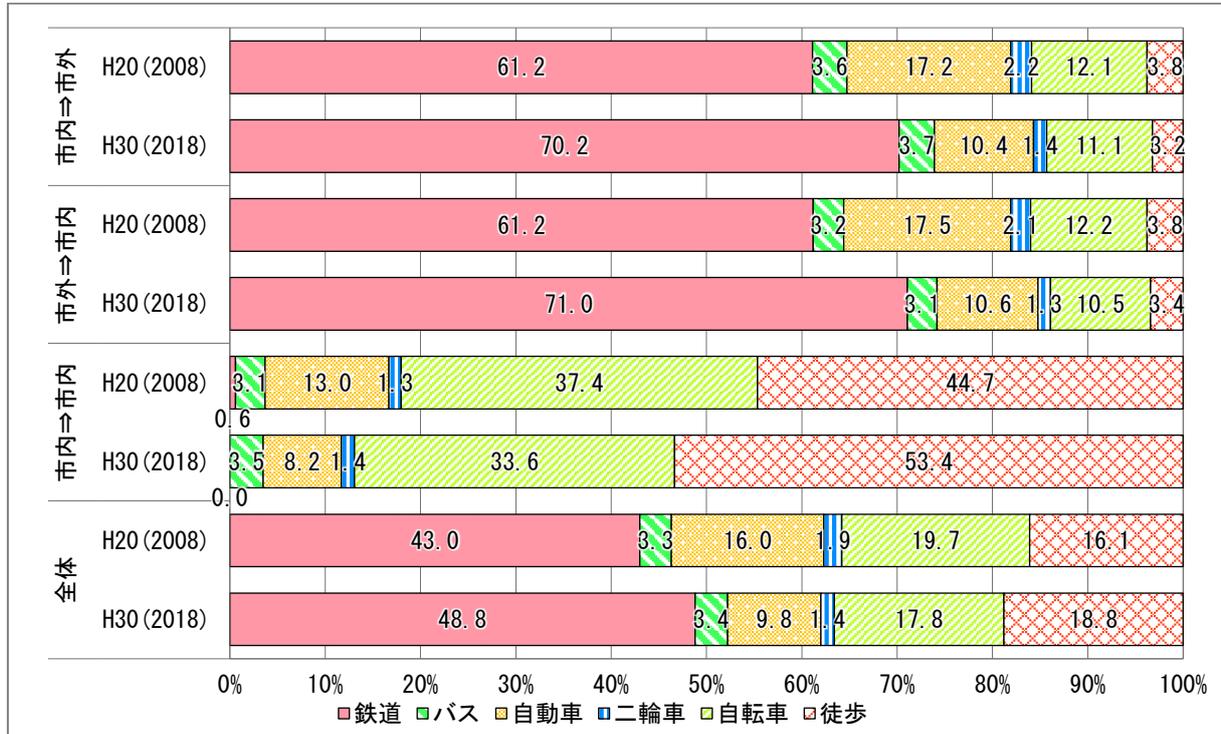


（出典：東京都市圏パーソントリップ調査より作成）
※目的不明を除いて作成

3) 移動の手段

小金井市における交通手段は、鉄道の割合が大きく増加し主に市内外のトリップの割合が増加しており、自動車の割合は減少しています。また徒歩の割合も増加していますが、こちらは市内々のトリップにおいて割合が大きく増えています。自動車、自転車については市内々、市内外のトリップいずれにおいても割合が減少しています。

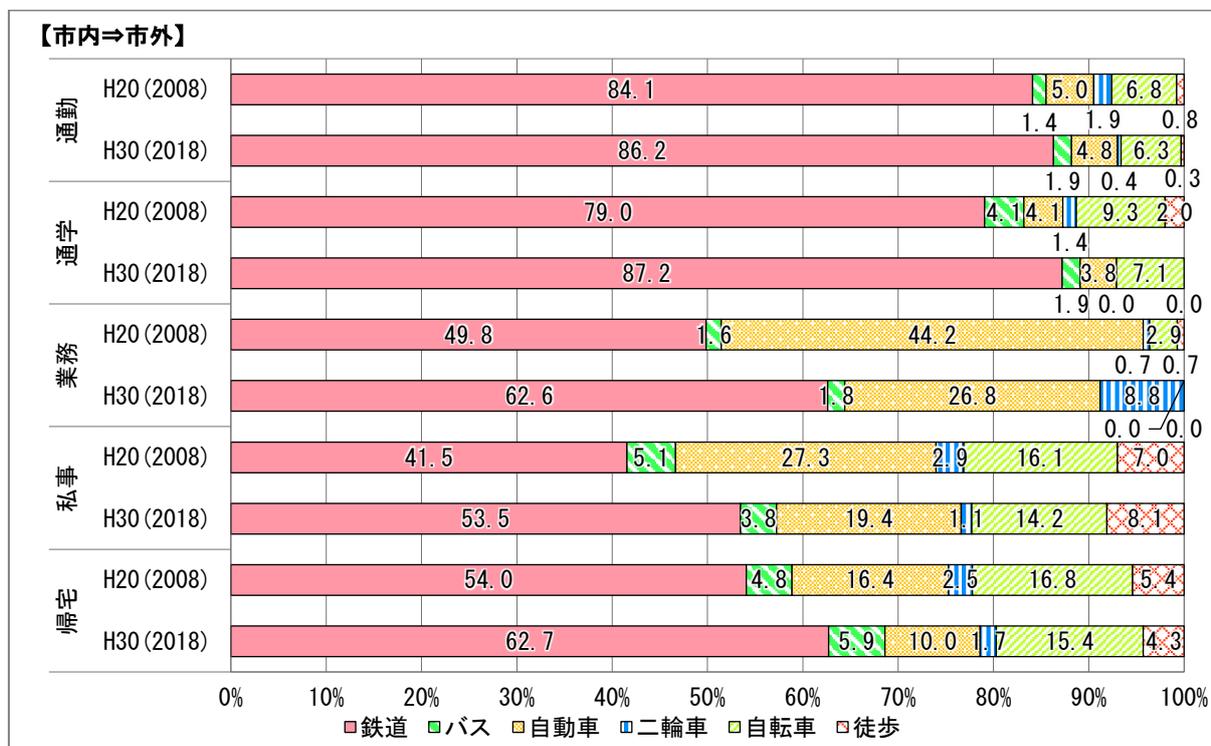
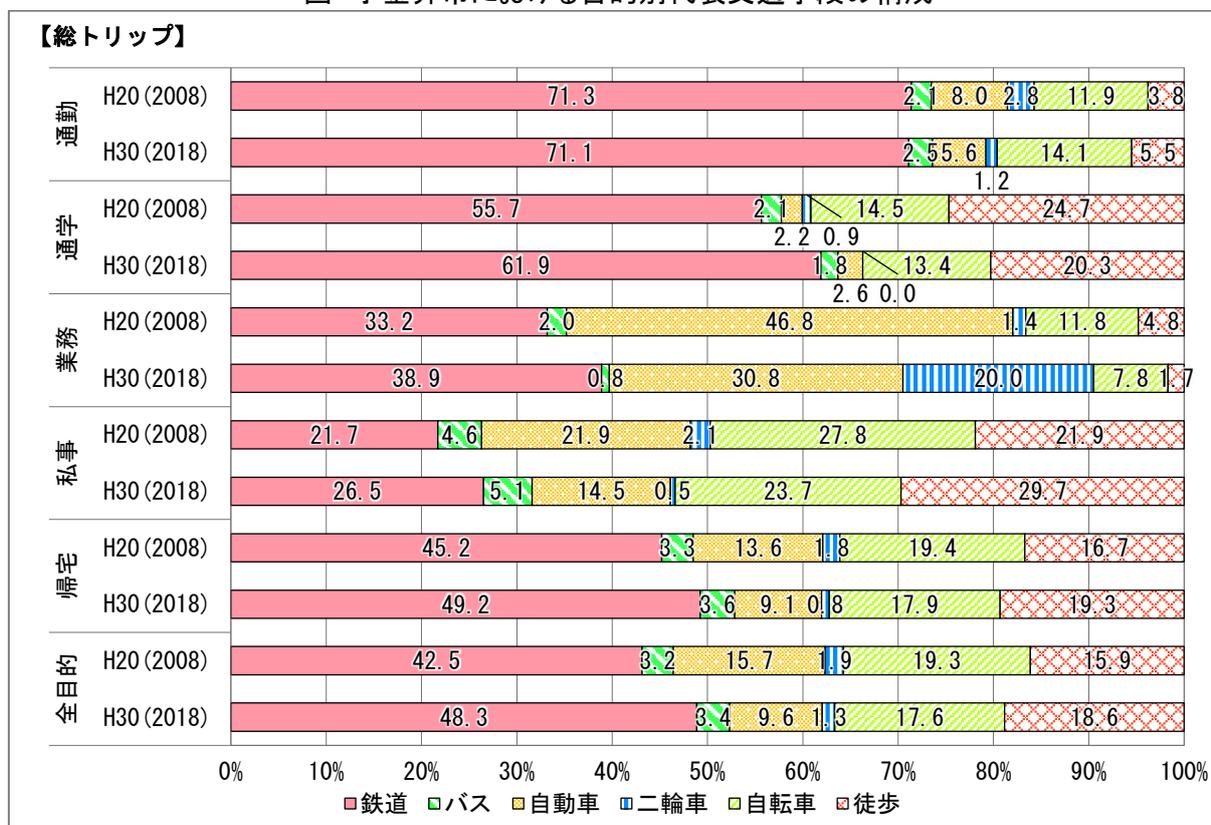
図 小金井市における代表交通手段の分担率

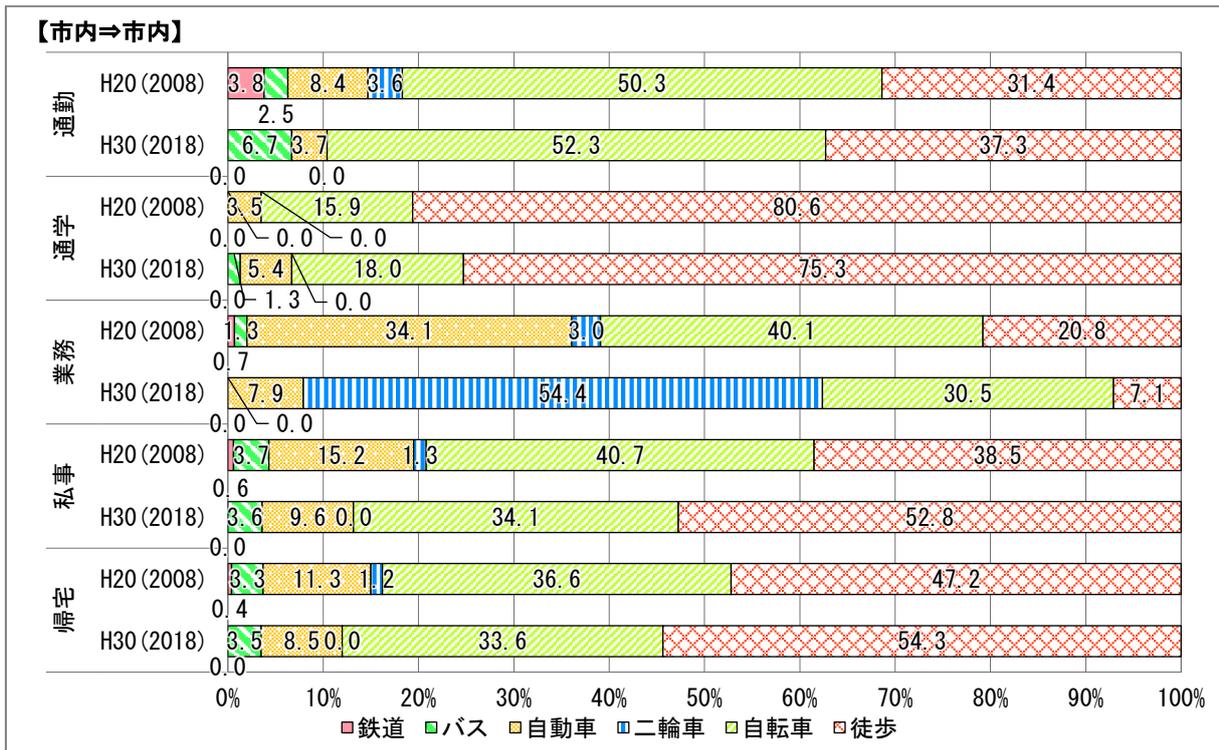
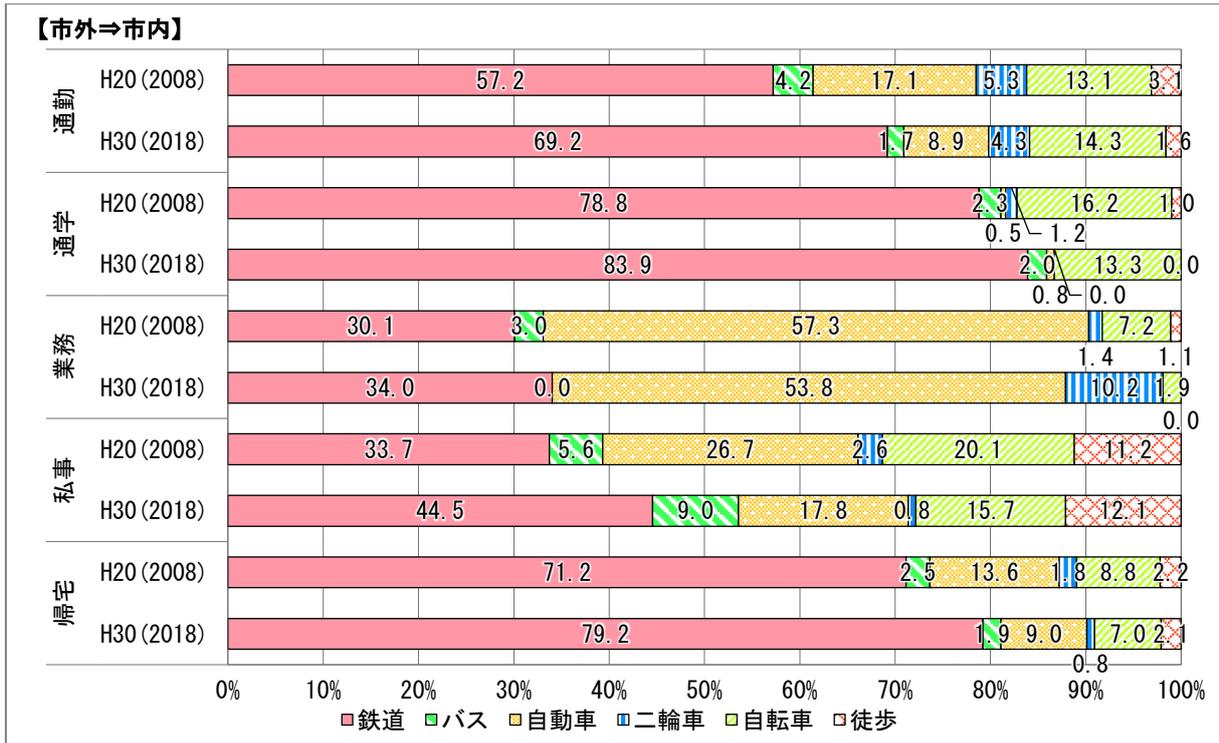


(出典：東京都市圏パーソントリップ調査より作成)
 ※交通手段その他・不明を除いて作成

また、目的別の代表交通手段の構成を見ると、通学での鉄道増加、徒歩減少、業務での自動車減少、二輪車増加、私事における鉄道と徒歩増加、自動車減少などが読み取れます。

図 小金井市における目的別代表交通手段の構成





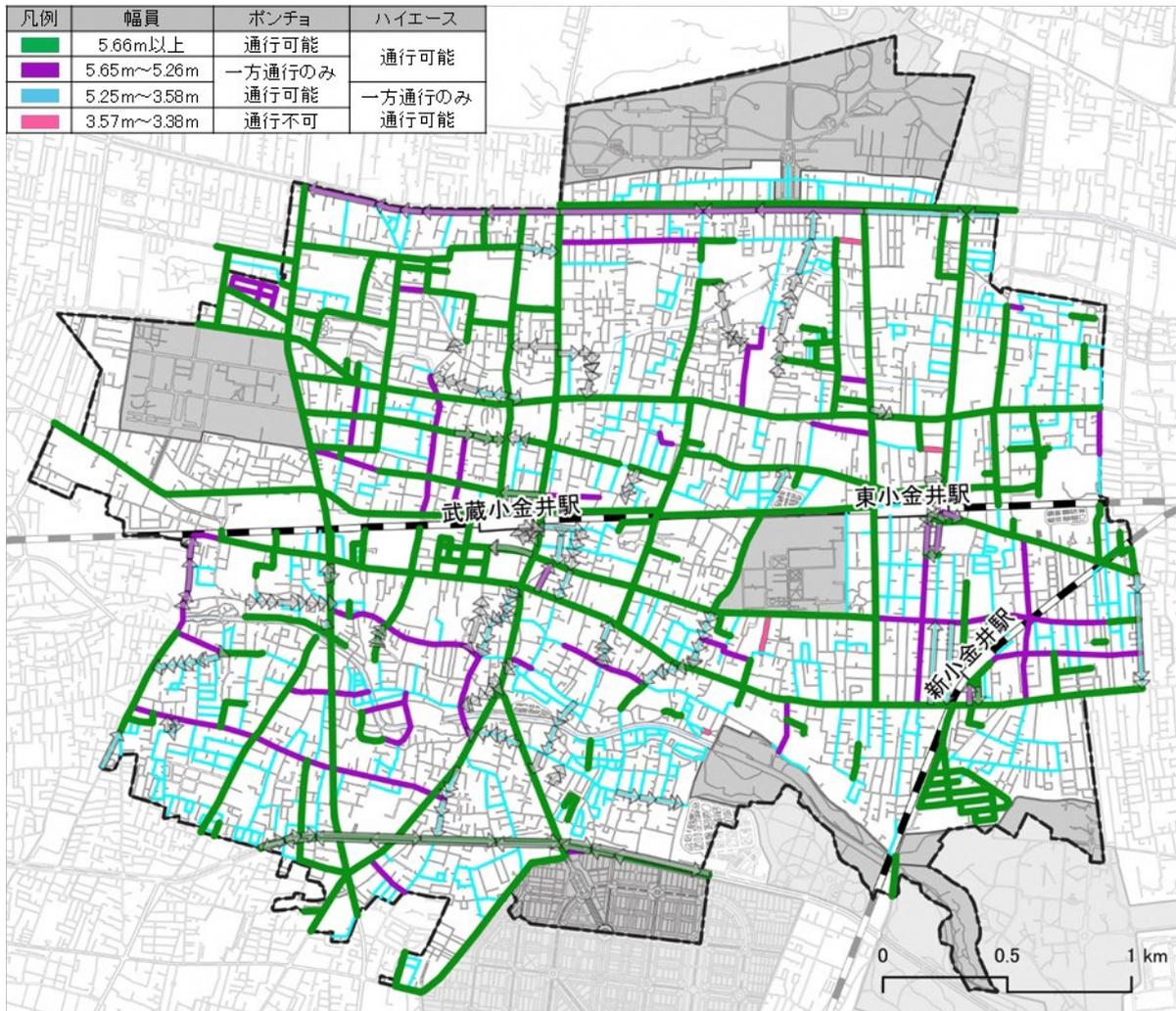
(出典：東京都市圏パーソントリップ調査より作成)
 ※目的不明、交通手段その他・不明を除いて作成

2.1.5 道路状況

1) 主要道路の幅員構成の確認

小金井市内の道路については、縦横に幅員の大きな道路が通っています。他方、主要な道路から中に入ると細かい路地が多い状況で、大型の車両などは通行できない場所が多くあります。

図 コミュニティバスの通行可能な道路



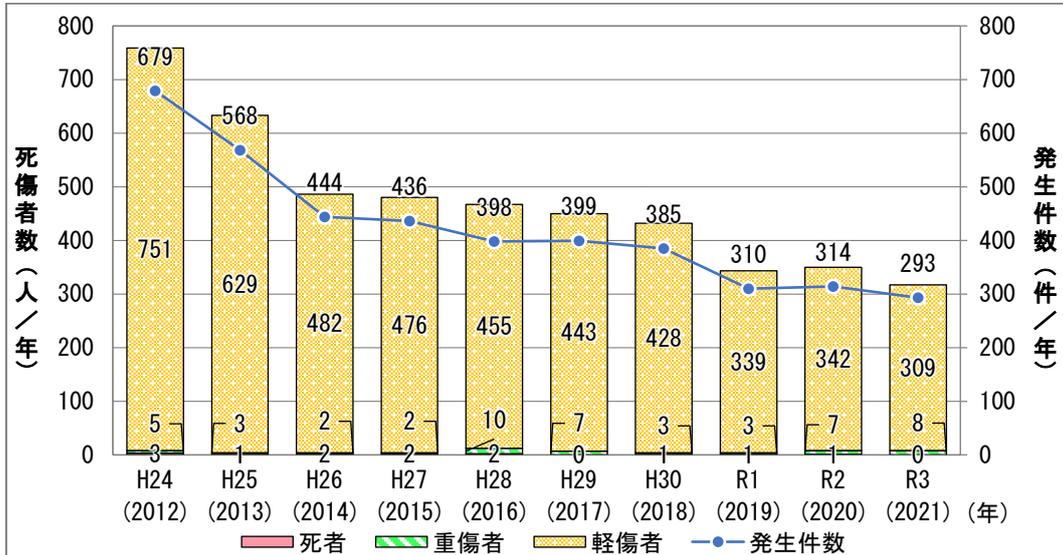
(出典：小金井市道路台帳（令和1（2019）年9月時点）より作成)

2.1.6 交通事故状況

1) 交通事故発生状況(年代別・手段別)

小金井警察署管轄地域(小金井市・国分寺市)における交通事故発生件数については、平成24(2012)年以降減少傾向が続いており、それに伴い死傷者数についても減少傾向にあります。

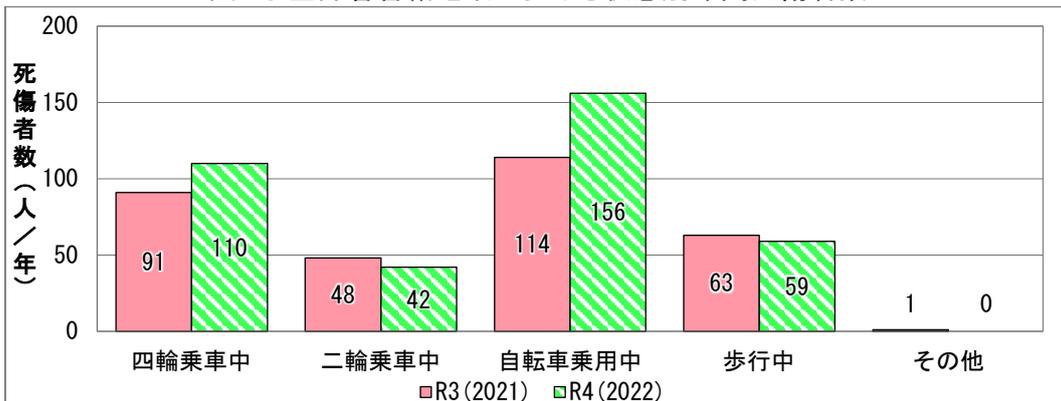
図 小金井署管轄地域における年間死傷者数、発生件数



(出典：警視庁の統計より作成)

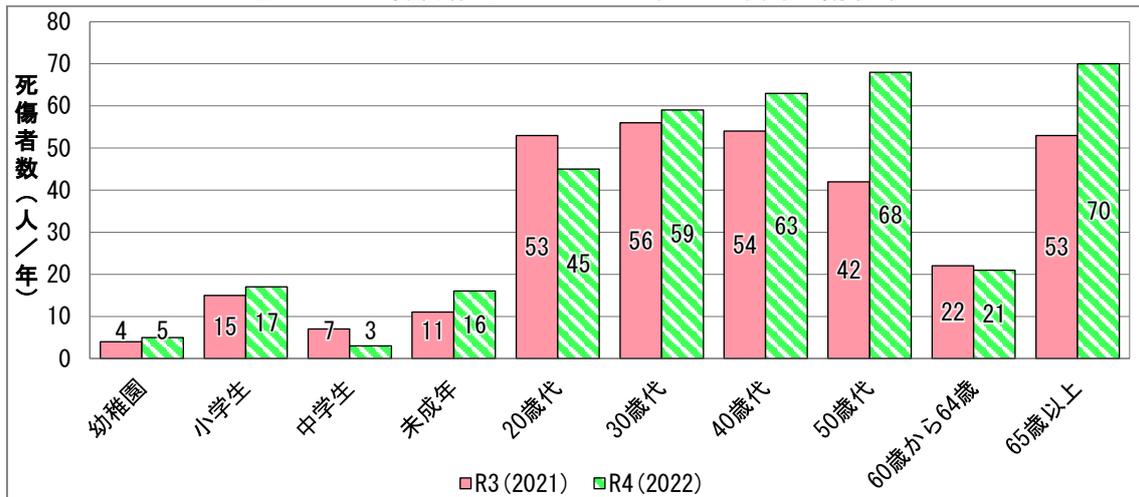
また、状況別の統計を見ると令和3(2021)年から令和4(2022)年にかけて四輪車、自転車での事故が増加しています。年代別では、若年層では小学生の死傷者数が多く、成人以降の年代では若年層に比べ、どの年代も死傷者数が多い状態です。また60歳から64歳代はそれまでの年代に比べ数が減少しています。令和3(2021)年から令和4(2022)年にかけては、30代以降、60歳から64歳代を除き、数が増加しており、特に50歳、65歳以上の年代が急増しています。

図 小金井署管轄地域における状態別年間死傷者数



(出典：小金井警察署の統計より作成)

図 小金井署管轄地域における年代別年間死傷者数



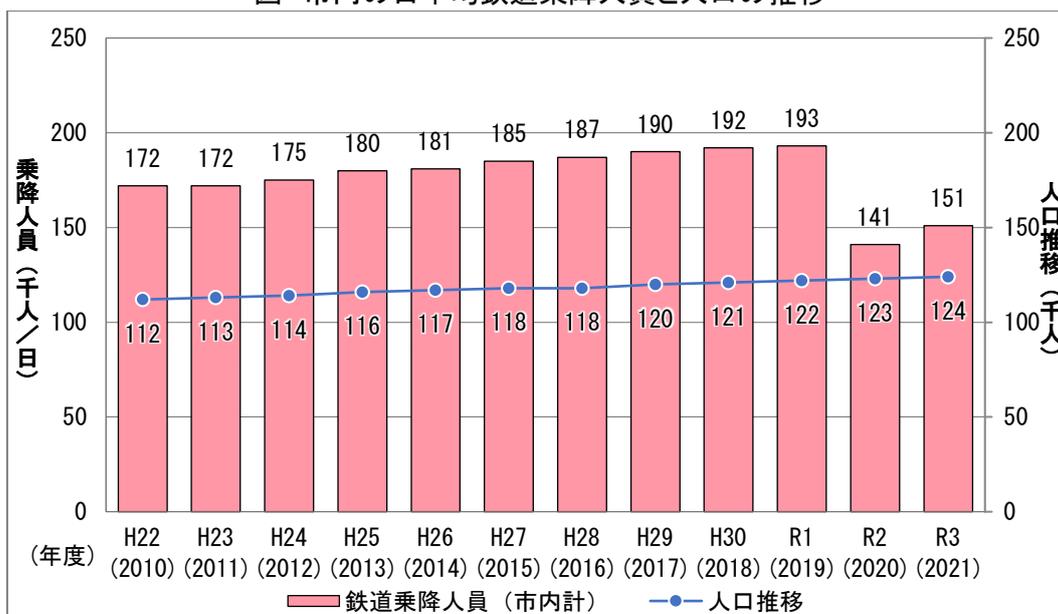
(出典：小金井警察署の統計より作成)

2.2 公共交通の現況

2.2.1 鉄道

小金井市内には、JR 中央本線 武蔵小金井駅・東小金井駅と西武多摩川線新小金井駅の3駅があります。鉄道の利用者数は、人口の増加に伴い平成22（2010）年度から平成31（2019）年度まで増加傾向が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、令和2（2020）年度、令和3（2021）年度の乗降人員は大きく減少しています。

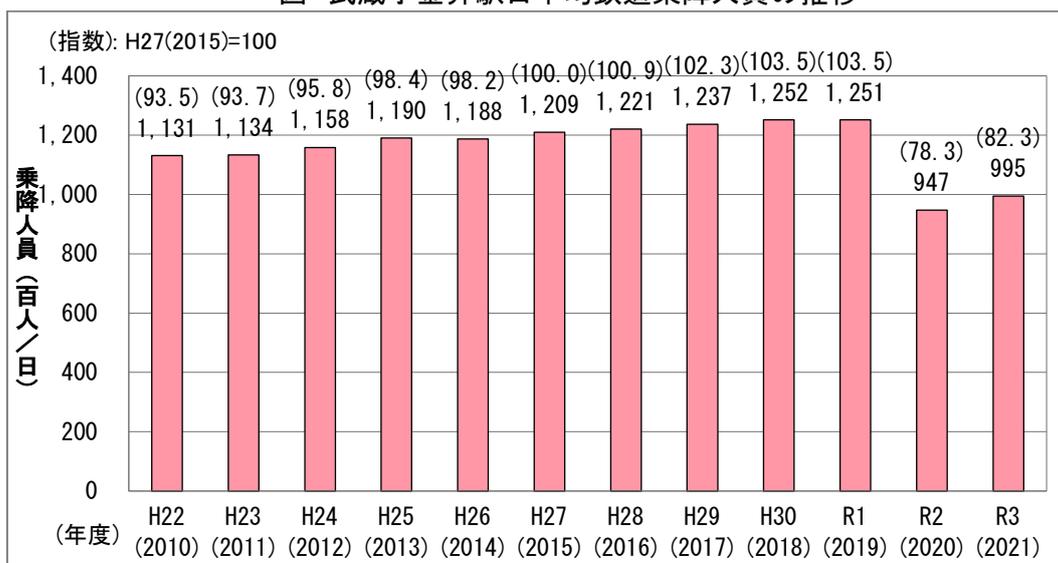
図 市内の日平均鉄道乗降人員と人口の推移



(出典：東日本旅客鉄道㈱、西武鉄道㈱資料より作成)

※東日本旅客鉄道㈱については乗車人員を2倍し乗降人員として集計

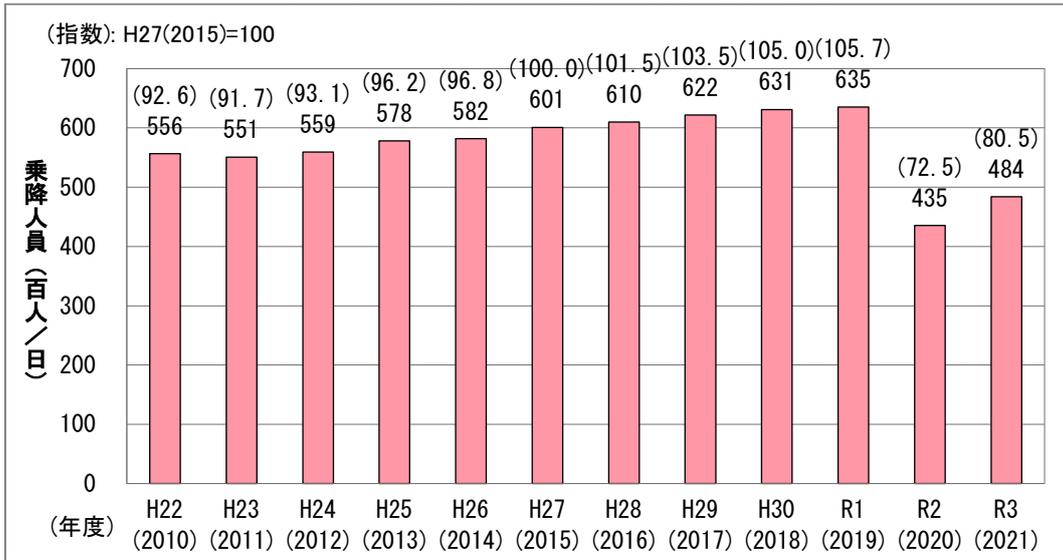
図 武蔵小金井駅日平均鉄道乗降人員の推移



(出典：東日本旅客鉄道㈱資料より作成)

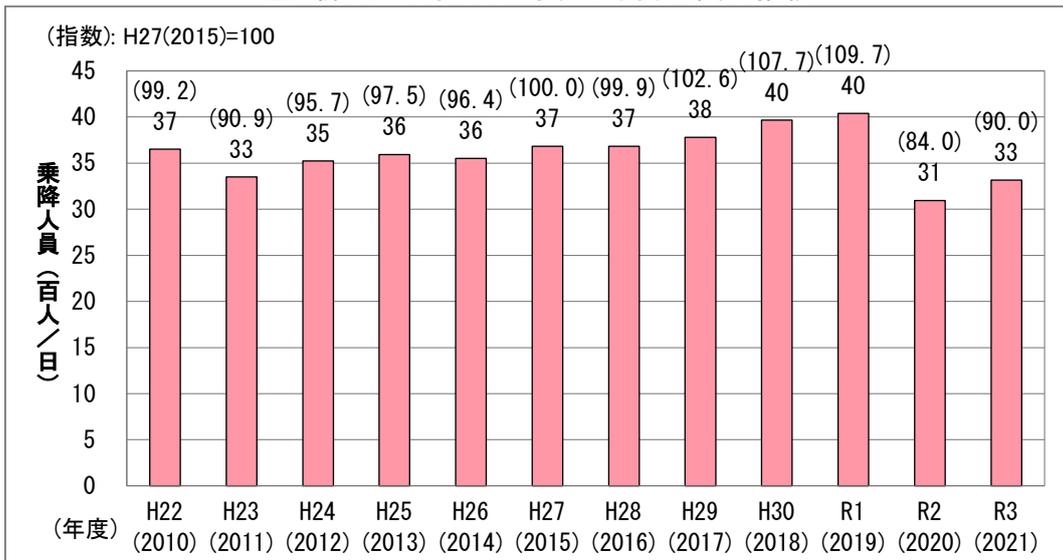
※乗車人員を2倍し乗降人員として集計

図 東小金井駅日平均鉄道乗降人員の推移



(出典: 東日本旅客鉄道㈱資料より作成)
 ※乗車人員を2倍し乗降人員として集計

図 新小金井駅日平均鉄道乗降人員の推移



(出典: 西武鉄道㈱資料より作成)

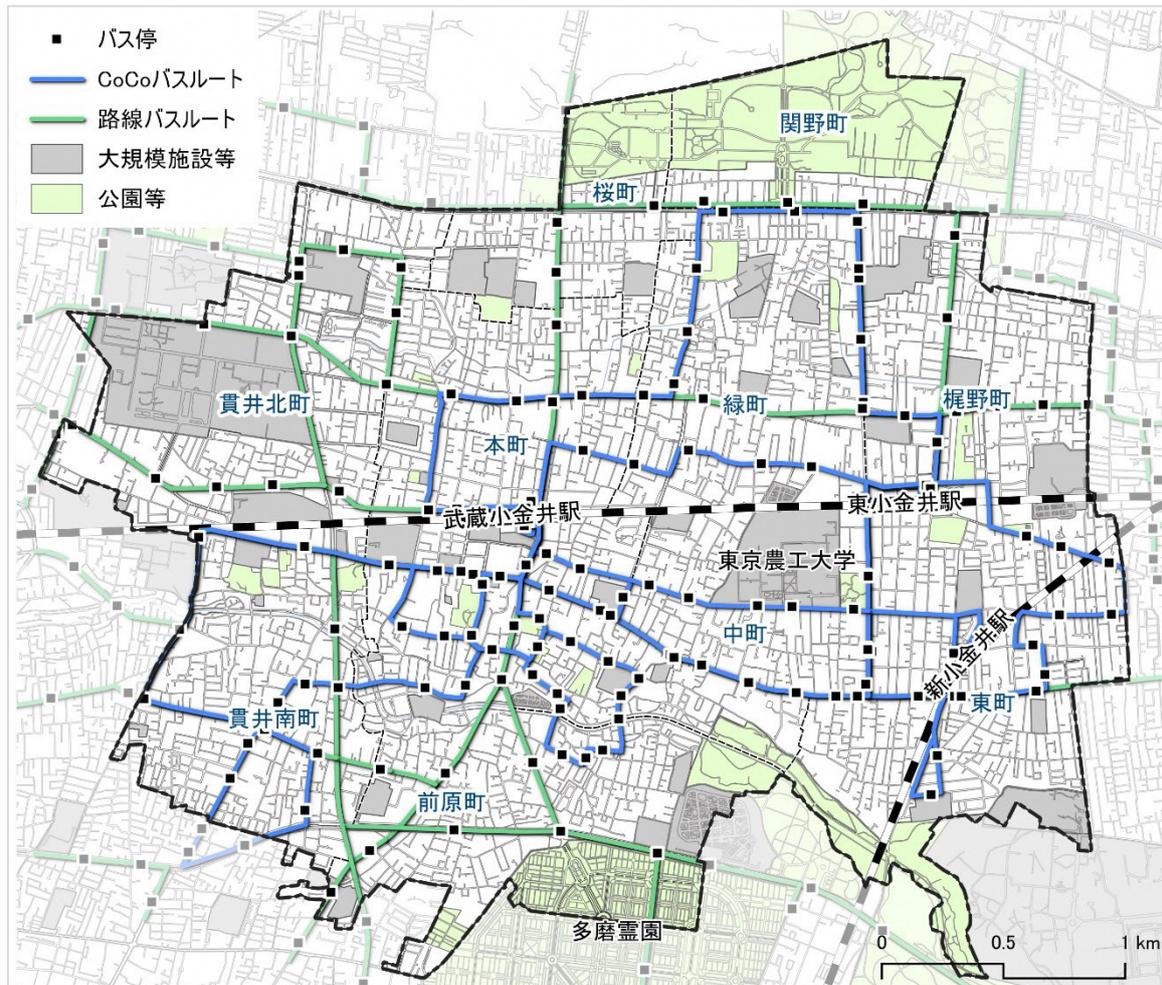
2.2.2 バス

1) 路線網

小金井市内には各駅へ向かうバスのほか、隣接地域を結ぶバスも多く、南北方向を結ぶ市民の身近な交通手段であるとともに、鉄道が通っていない地域の交通手段として、主要な役割を果たしています。

小金井市のコミュニティバスCoCoバスは、令和5（2023）年度から再編運行を開始し、市内の交通空白地を埋める形で再編がされたことに伴い、他交通機関と合わせ、おおよそ市内を網羅的に公共交通機関が走っている状況です。

図 市内バス路線網



(出典：各事業者の路線図より作成)

2) 路線マップ

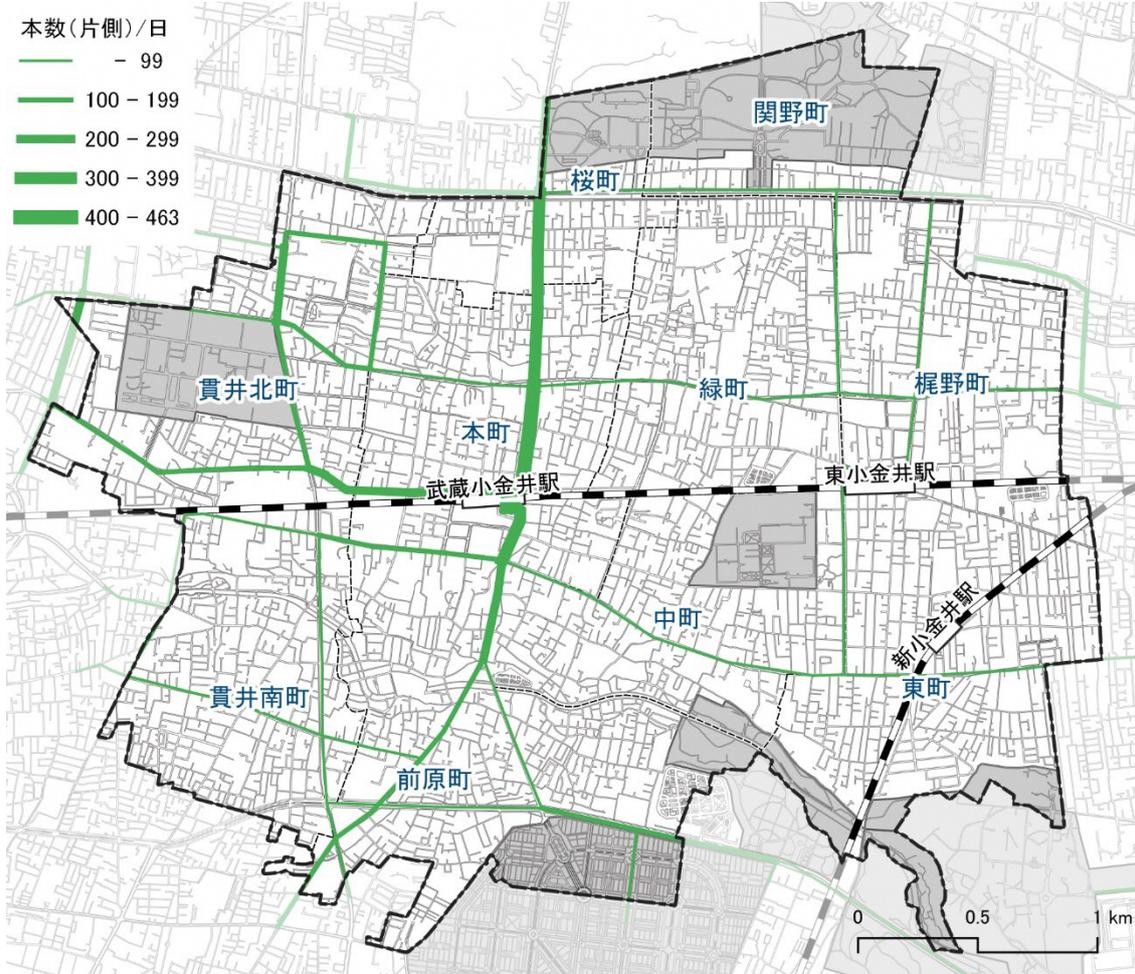
※別紙参照

3) 路線バスの状況(CoCoバス以外の他自治体コミュニティバスを含む)

(1) 運行本数

路線バスにより広い範囲の移動の足が確保されていますが、一部路線では、利用者数の減少にあわせて運行本数が減便している箇所もあります。

図 路線バス運行本数図



(出典：各事業者の時刻表、路線図より作成)

4) コミュニティバス(CoCoバス)の状況

(1) 運行本数

令和5(2023)年4月の再編後の各路線の運行本数、運行間隔、運行時間帯は以下の通りです。

表 CoCoバスの運行本数等

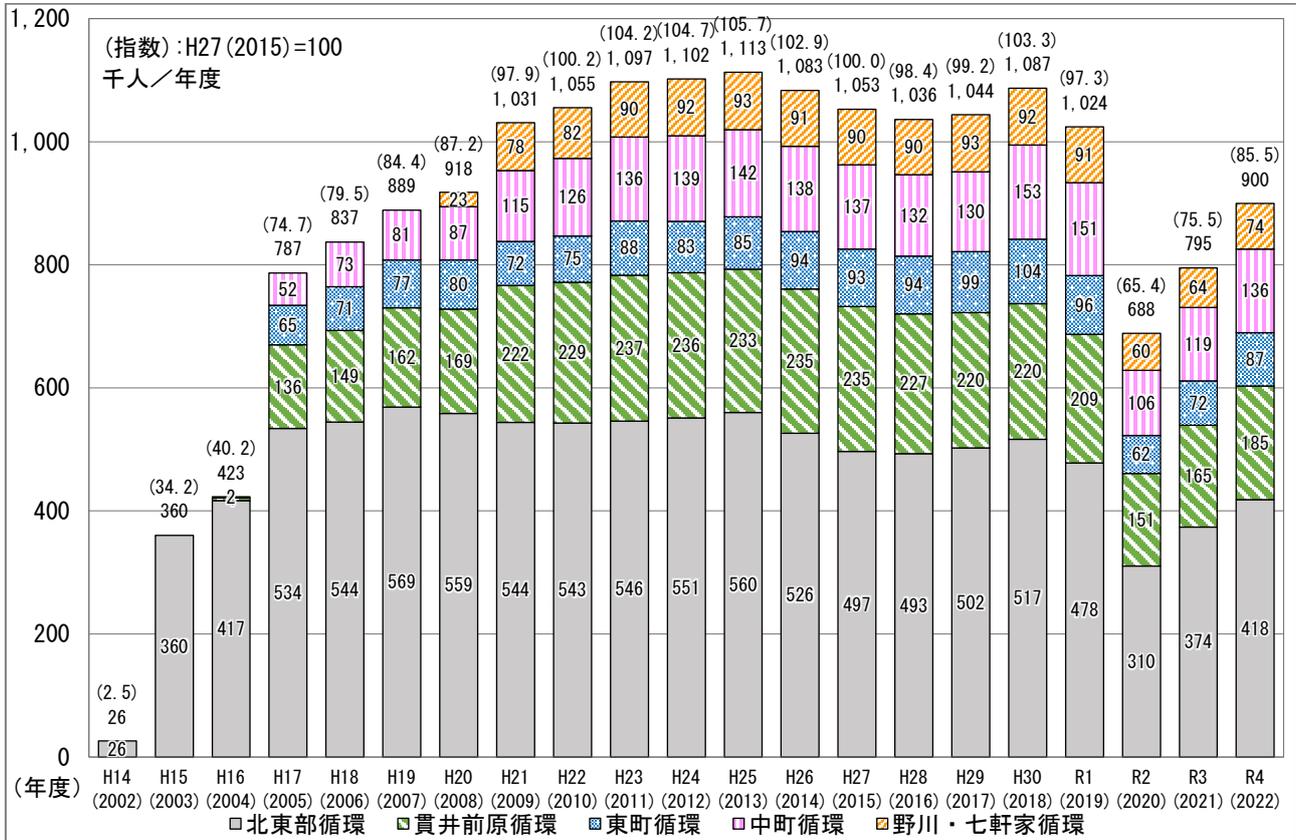
	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環
運行本数	42 便/日(平日) 40 便/日(休日)	25 便/日	19 便/日	21 便/日	24 便/日
運行間隔	20 分	25 分	35 分	30 分	30 分
運行時間帯	7 時～20 時	9 時～19 時	9 時 05 分 ～19 時 35 分	9 時～19 時	8 時 35 分 ～20 時 05 分

※運行時間帯は始発・終発の出発時刻に基づき記載

(2) 利用者数の状況

運行開始当初からの利用者数の推移は以下の通りです。

図 CoCo バス利用者数推移

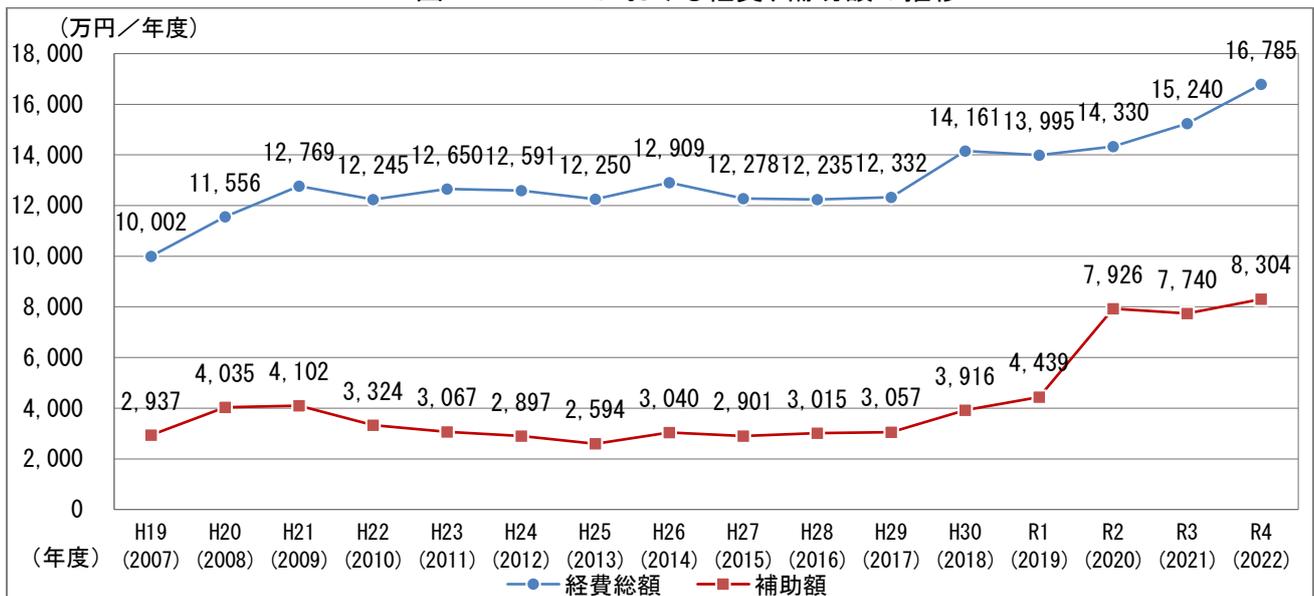


(出典：小金井市提供の利用実績より作成)

(3) 経費の状況

平成19(2007)年度からの5路線総計の運行経費と補助額の推移は以下の通りです。

図 CoCo バスにおける経費、補助額の推移



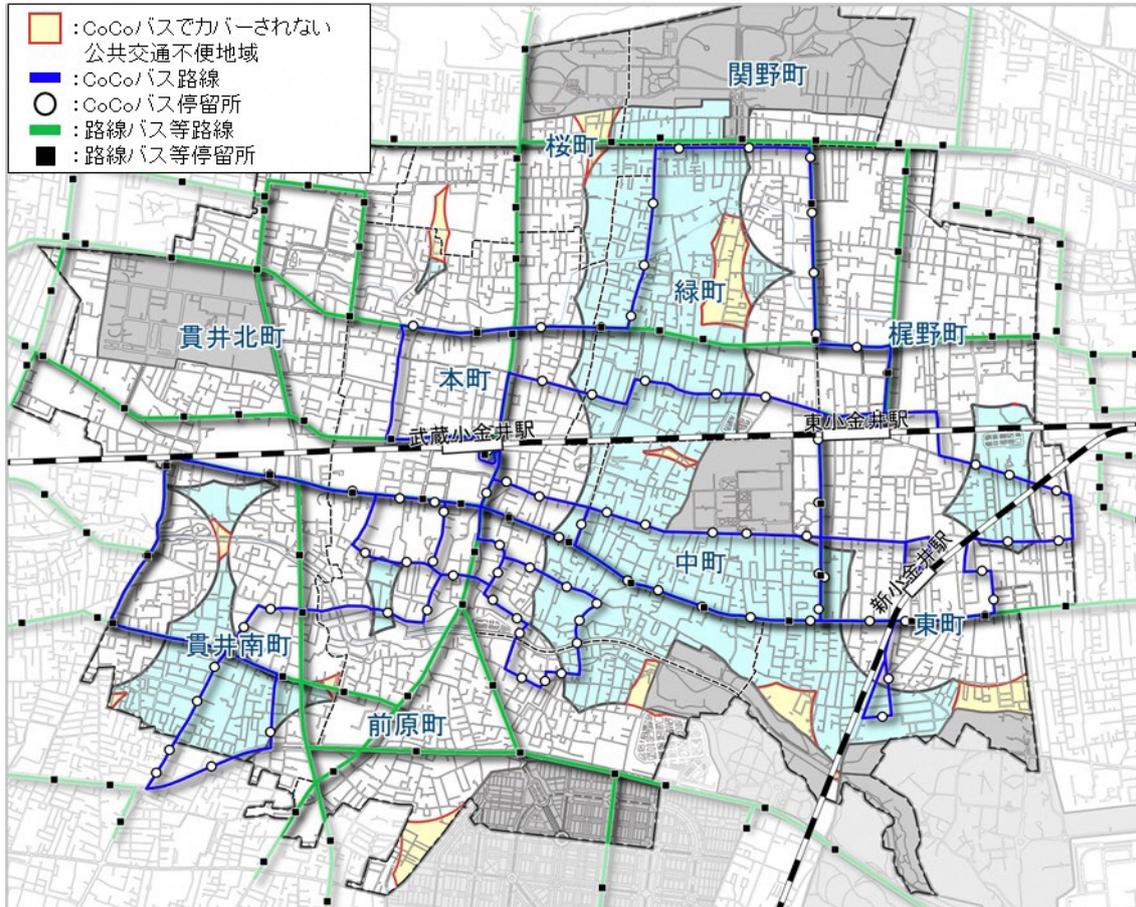
(出典：小金井市提供の利用実績より作成)

2.2.3 公共交通不便地域

1) 公共交通不便地域

小金井市における CoCo バスでカバーされない交通不便地域は以下の通りとなっており、概ね全域がカバーされています。

図 公共交通不便地域



(出典：基盤地図情報を加工して作成)

※※「公共交通不便地域」の定義は以下の条件を全て満たす地域
【鉄道駅】 武蔵小金井駅・東小金井駅 500m 以遠、新小金井駅 300m 以遠
【路線バス】 1 日の運行本数が片側 20 便以上の路線バス停留所 300m 以遠

2.2.4 タクシー

小金井市内のタクシー事業者は以下の通りです。市内に約 150 前後の車両があります。

表 小金井市内タクシー事業者

会社名	住所	車両数
三幸交通株式会社 小金井営業所	東京都小金井市本町 5-4-6	20
武蔵野自動車交通株式会社	東京都小金井市緑町 5-5-2	28
つくば観光交通株式会社	東京都小金井市東町 4-33-19	99(内ジャンボ 8、車いす 37)
有限会社小金井交通	東京都小金井市梶野町 5-8-29	-

(出典：Mapion 電話帳 HP、TaxisiteHP の情報より作成)

2.2.5 シェアモビリティ

小金井市内のシェアサイクルとシェアバイクのポートの設置箇所は以下の通りです。シェアサイクルポートについては、数は少ないですが、駅周辺から貫井南町、関野町など広く点在しています。シェアバイクについては現在、武蔵小金井駅北の一か所のみでの設置となっています。

表 シェアサイクルポート設置位置リスト

設置箇所	住所	駐車可能数
シェアサイクル		
1 いなげや小金井東町店	東京都小金井市東町 4-12-16	3
2 いなげや小金井本町店	東京都小金井市本町 3-1-1	7
3 いなげや小金井貫井南店	東京都小金井市貫井南町 5-14-18	5
4 鈴栄ビル	東京都小金井市中町 2-16-17	3
5 ソーシャルレジデンス東小金井	東京都小金井市緑町2丁目17	19
6 JR 東小金井駅高架下	東京都小金井市緑町1丁目134-1	52
7 JR 武蔵小金井駅高架下	東京都小金井市本町六丁目	38
8 サンドラッグ小金井梶野町店	東京都小金井市梶野町 1-7-32	4
9 セブンイレブン 小金井前原町 5 丁目店	東京都小金井市前原町 5-11-1	6
シェアバイク		
1 AZEST 武蔵小金井	東京都小金井市本町 3 丁目 8-7	6

図 シェアモビリティのポート位置



(出典：シェアサイクル：<https://www.hellocycling.jp/station/tokyo/小金井市>
 シェアバイク：<https://www.shaero.jp/stations/station-447.html>)

3 国・社会の動向

3.1 新たなモビリティサービスの実装に向けた展開

1) MaaS

MaaS (Mobility as a Service) とは、地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

国土交通省においては、関係府省庁とも連携しつつ、MaaSの全国への早急な普及に取り組んでいます。



(出典：国土交通省 日本版MaaSの推進)

2) 自動運転

自動走行分野において世界をリードし、社会課題の解決に貢献するため、産学官オールジャパンで検討が必要な取組として、①一般車両の自動走行等の将来像を明確化、②協調領域を特定、③国際的なルール（基準、標準）づくりに戦略的に対応する体制の整備、④産学連携促進に向けた議論を行っています。

経済産業省と国土交通省では、自動運転レベル4等の先進モビリティサービスの実現・普及に向けて、研究開発から、実証実験、社会実装まで一貫した取組を行う、新たなプロジェクト「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト (RoAD to the L4)」を立ち上げ、2025年までの継続的な検討を行っています。

また、多数の自治体にて実証実験等が実施されています。

3.2 持続可能な社会に向けた展開

1) SDGsの推進

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



（出典：持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組 パンフレット）

2) カーボンニュートラルの推進

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減、並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年にパリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、

- 世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること（2℃目標）
- 今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること

等を合意しており、この実現に向けて、世界が取組を進めており、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げています。

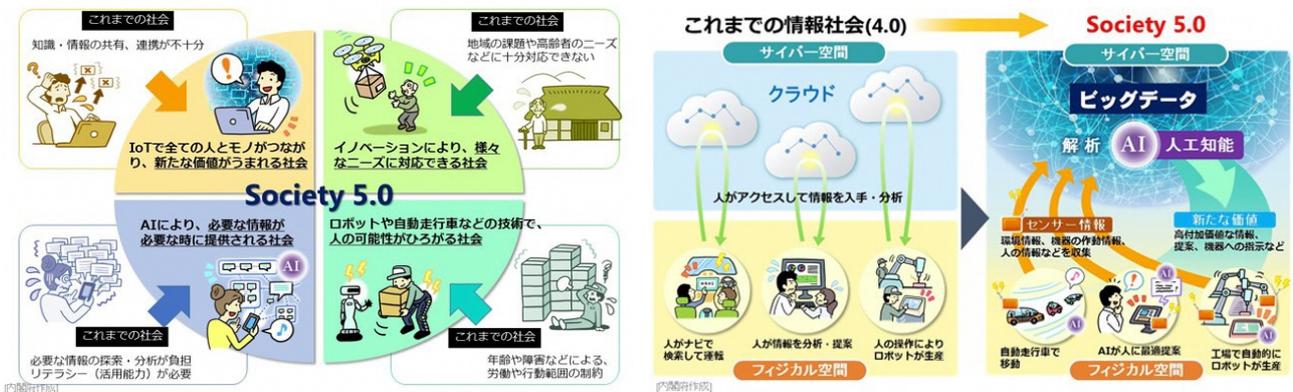
3.3 超スマート社会の推進

1) Society5.0

Society5.0とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のことで、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すものとして、第5期科学技術基本計画に日本が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されたものです。

政府では地域におけるICT等の新技術を活用したマネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域、すなわち「スマートシティ」を推進しています。

図 Society 5.0 で実現する社会(左)と Society 5.0 の仕組み(右)



(出典：内閣府)

2) デジタル田園都市構想

地方を中心に、人口減少・少子高齢化、過疎化・東京圏への一極集中、地域産業の空洞化といった課題に直面しており、こうした課題を解決に向けてこれまでの地方創生の成果を最大限に活用しつつ、地方活性化を図っていくことが求められています。デジタルは社会課題を解決する鍵であり、新たな価値を生み出す源泉として、デジタルの実相を通じて地域の社会課題の解決と魅力の向上を図っていくものと位置付けて推進しています。

国では、デジタル田園都市国家構想総合戦略を定め、デジタル実装に取り組む地方公共団体を2024年度までに1,000団体、2027年度までに1,500団体にすることを目標として掲げています。また、国が示す重要施策分野の例として、公共交通のR・デザイン（Ma a S等のデジタル技術の活用）を掲げています。

3.4 公共交通を取り巻く状況

1) バス・タクシー等運転手の勤務時間の見直し

自動車運転者の長時間労働を防ぐことは、労働者自身の健康確保のみならず、国民の安全確保の観点からも重要であることから、トラック、バス、ハイヤー・タクシー等の自動車運転者について、労働時間等の労働条件の向上を図るため拘束時間の上限、休息期間について基準等が設けられています。

働き方改革関連法により、自動車運転の業務にも時間外労働の上限が設けられたことをうけ、令和6年4月から見直しを行うこととなっています。バス運転士の場合、時間外労働の上限は、原則月 45 時間・年 360 時間、臨時的特別な事情がある場合でも年 960 時間となります。

これにより運転士の労働環境は改善されますが、運転士 1 人当たりの運転時間が短くなるため、現在の運行ダイヤの維持に向けて運転士不足が生じる可能性があります。

表 バス運転士の勤務時間の見直しのポイント

	現行	見直し後
1年の拘束時間	3,380 時間	原則： 3,300 時間
4週平均 1週 1か月の拘束時間	【4週平均1週間】 原則： 65 時間 (月換算：281 時間) 最大： 71.5 時間 (月換算：309 時間)	【1か月の拘束時間】 原則： 281 時間 最大： 294 時間 ※281 時間を超える月が4か月を超えて連続しないこと。 ※4週平均1週の拘束時間も同水準で存置。1か月と選択可。
1日の休息期間	継続 8 時間	継続 11 時間を基本とし、9 時間下限

2) 共創による地域交通形成支援事業の創設

交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域公共交通の維持・活性化を目的として複数の主体が連携して行う取組です。その萌芽となる交通の実証事業における運行経費等を補助するとともに、実地伴走型のフォローを行うことにより、必要な課題等を整理し、地域公共交通の持続可能性を高めていくことを目指します。

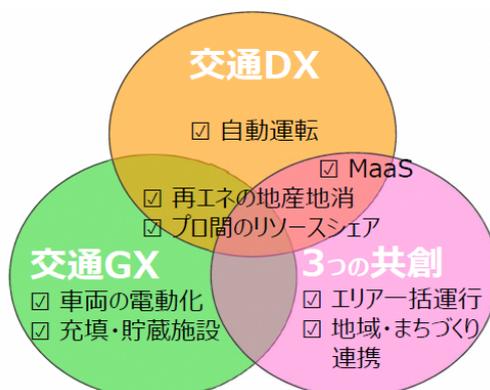
国土交通省では令和4年度からモデル実証プロジェクトを募集・実施しており、令和5年度も継続しています。

3) エリア一括協定運行事業の創設

地域公共交通確保維持事業の1つとして新たに追加されたもので、自治体と交通事業者が協定を締結し、一定エリアについて一括して運行する事業に対する補助制度。自治体と交通事業者との間で運賃、路線、運行回数、自治体の費用負担、官民の役割分担を内容とした協定を締結する制度で、自治体は、事業者に対して運行に対する「交通サービス購入費用」としての対価を支払い、事業者は協定に基づき複数年にわたって運行するものです。国が事業初年度に事業期間全体の支援額を明示し、期間を通じて予算面で支援を行うものです。

4) 地域公共交通の「リ・デザイン」

国の交通政策審議会において、MaaS などデジタル技術の実装や、交通手段同士の垣根を越え、また、交通領域以外との垣根を越える共創により潜在需要の顕在化に取り組む必要性が示されています。



(出典：令和4年度第1回(第20回)交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会資料)

各種アンケート調査の実施について

1 市民アンケート調査

地域住民の現在の移動状況やそれに対する課題、公共交通利用に係るニーズ等を把握するため、市民アンケート調査を実施する。

1.1 調査概要

【対象者】18歳以上の市民2,000名（回収800票を想定（過年度実績より回収率40%））

【方 法】郵送配布・郵送回収

【実施時期】令和5年9月頃を想定

1.2 調査項目(案)

設問構成案と、活用方法は以下のとおりである。CoCoバス再編時の調査（平成30年度実施）結果との比較が可能な項目については、比較集計を行う。

表 市民アンケート・設問構成案

設問		前回調査との比較	活用方法
1 個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所(町丁目) ・ 年代 ・ 職業 ※性別は設問対象外とした ・ 自動車運転免許の保有状況 ・ 免許返納意向 ・ 自動車・自転車の保有状況 ・ 家族等による送迎の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 新設 ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年代・居住地区等による利用実態、ニーズの違い把握(クロス集計にも活用) ・ 客観的な公共交通の利用可能性の把握
2 外出目的と交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ よく行く目的地 ・ 利用交通手段 ・ 外出頻度 ・ 外出時間帯 ・ 移動時の課題 	新設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通手段の利用特性、公共交通の利用者層や利用のされ方の把握(目的、行先、時間帯、地域や属性との関係等)
3 公共交通の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の利用頻度(鉄道・バス・タクシー) ・ 利用しない理由(バス) ・ 新たな交通手段の利用経験 	<ul style="list-style-type: none"> 新設 バスは○ 新設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通利用の制約状況の確認
4 現在の公共交通に対する満足度や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスサービスの不満と思う項目 ・ バスサービスの重要と思う項目 ・ サービス改善による利用意向 	新設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の必要性・課題の確認(潜在ニーズの把握、公共交通利用促進の可能性とターゲットの把握)
5 公共交通に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型車両による移動サービスの導入意向、費用負担の考え方 ・ 新しい交通手段や利用するための仕組みの利用意向 ・ 行きたい場所・頻度、現在の移動状況 	新設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなモビリティ・サービスの検討活用性の把握(今後も見据えた潜在ニーズの把握)
6 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の移動の課題、公共交通に関して 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在的な課題・ニーズの把握

2 利用者アンケート調査

公共交通の利用者層や利用のされ方、利用状況（乗降バス停、利用目的、利用頻度、乗継ぎ状況等）や利用ニーズ（求める改善策等）を把握するため、公共交通利用者へのアンケート調査を実施する。

2.1 調査概要

調査対象	配布部数	回収方法	配布日時	配布方法
路線バス	1,500 部	郵送 WEB 回答	平日 1 日 令和 5 年 9 月頃 9 時～17 時での 実施を想定	武蔵小金井駅及び東小金井駅 でバスを待っている人に対して 調査票を配布
コミュニティバス (CoCo バス)	300 部	郵送 WEB 回答 回収 BOX		
タクシー	300 部	郵送 WEB 回答		武蔵小金井駅及び東小金井駅 でタクシーを待っている人に対し て調査票を配布、ドライバーから 車内で調査票を配布

2.2 調査項目(案)

1) バス利用者(路線バス・CoCo バス)アンケート調査

設問構成案と、活用方法は以下のとおりである。前回調査（平成 30 年度実施）結果との比較が可能な項目については、比較集計を行う。

表 バス利用者アンケート・設問構成案

設問		前回調査 との比較	活用方法
問1.個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所(10 区分) ・ 年代 ・ 職業 ※性別は設問対象外とした ・ 自動車運転免許の保有状況 ・ 自動車・自転車の保有状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年代・居住地区等による利用実態、ニーズの違い把握(クロス集計にも活用)
問2.利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用路線(CoCo バスのみ) ・ 乗車／降車バス停 ・ 移動の目的 ・ 移動の最終目的地 ・ 支払い方法 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 新設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの使われ方(目的、行先、時間帯、地域や属性との関係等)の把握 ・ CoCo バス再編後の利用実態の変化の把握
問3.普段の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の利用頻度 ・ 普段の利用曜日、時間帯 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	
問4.利用ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスサービスの満足度 ・ バスサービスの不満と思う項目 ・ バスサービスの重要と思う項目 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一部○ 新設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス改善の必要性が高い項目の把握
自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの改善点及び全般に対する意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な課題・ニーズ等の把握

2) タクシー利用者アンケート調査

設問構成案と、活用方法は以下のとおりである。

表 タクシー利用者アンケート・設問構成案

設問		活用方法
問1.個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所(10 区分) ・ 年代 ・ 職業 ※性別は設問対象外とした ・ 自動車運転免許の保有状況 ・ 自動車・自転車の保有状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年代・居住地区等による利用実態、ニーズの違い把握(クロス集計にも活用)
問2.利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗車／降車場所 ・ 移動の目的 ・ 利用方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシーの使われ方(目的、行先、時間帯、地域や属性との関係等)の把握 ・ 利用環境やタクシー利用の必要性確認
問3.普段の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の利用頻度 ・ 普段の利用曜日、時間帯 ・ タクシーを利用する理由 ・ 1回あたりの平均利用額 	
問4.利用ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー車両を活用した新たなサービスの利用意向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシーの利便性向上施策の利用可能性の把握

2.3 タクシー事業者へのヒアリング調査結果

設問の設定にあたり、事前に市内のタクシー事業者へヒアリング調査を行った。

確認項目は以下のとおりである。

- ・ 市内でのタクシー運行実態（運行台数・利用者数の推移・利用が多い時間帯・季節等）
- ・ 市内でのタクシー利用状況（年齢構成・利用目的・平均利用額等）
- ・ 経営上の課題や見通し 等

市民アンケート調査

※本アンケートでは、「バス」を以下のように区分します。特に指定がなく「バス」と表記している場合、以下の両方を対象とします。

- ・路線バス：一般バス会社（西武、京王、小田急、関東、銀河鉄道等）の運行路線
- ・コミュニティバス：CoCoバスまたはムーバス等、地方自治体（市町村）の運行路線

1-1 あなたの年齢を教えてください。（1つに○）

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

1-2 あなたのお住まいの住所（町）について教えてください。（1つに○）

- | | |
|------------|---|
| ① 住所(1つに○) | 東町・梶野町・関野町・緑町・中町・前原町
本町・桜町・貫井北町・貫井南町 |
| ② 丁目 | () 丁目 |

1-3 あなたの職業を教えてください。（1つに○）

- | | | |
|-----------|--------|--------------|
| 1. 会社員 | 2. 自営業 | 3. 専業主婦・主夫 |
| 4. 公務員 | 5. 学生 | 6. パート・アルバイト |
| 7. その他() | | |

1-4 自動車運転免許は保有していますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 現在保有している | 2. 以前持っていたが、現在は保有していない |
| 3. 一度も保有したことはない | |

1-5 60歳以上の方は、免許返納意向について教えてください。（1つに○）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 近いうちに免許を返納することを考えている |
| 2. 現時点で自主返納するつもりは無いが、将来的に検討する |
| 3. できれば返納したいが、他の移動手段がない |
| 4. 自主返納はしないつもりである |

1-6 あなたが自由に利用できる 自動車・自転車 はありますか。（それぞれ1つに○）

- | | | | |
|-------|-----------|----------|------------|
| ①自動車： | 1. 保有している | 2. 家族で共用 | 3. 保有していない |
| ②自転車： | 1. 保有している | 2. 家族で共用 | 3. 保有していない |

1-7 家族等による送迎について教えてください。（1つに○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 送迎してもらうことができる | 2. 送迎してもらうことができない |
|------------------|-------------------|

2 あなたの普段の移動の状況についておたずねします。

2-1 【通勤・通学先】

① 主な通勤・通学先の場所や学校名を教えてください。(1つに○、カッコの中に直接記入)

1. 通勤・通学のための移動はほとんどしない → 2-2 【よく行く買い物先】 に進んでください
2. 小金井市内の職場・学校⇒ (住所や学校名)
3. 小金井市外の職場・学校⇒ (市区町村名や学校名)
※ 記入例 都立小金井北高等学校 など

①で2.または3.を選んだ方は以下の②～⑤にもお答えください。

② 通勤・通学先までの交通手段を教えてください。(利用するものすべてに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付	4. 路線バス
5. コミュニティバス	6. 鉄道	7. タクシー	8. 施設等の送迎車
9. クルマ (自分で運転)	10. クルマ (家族等に送迎してもらう)		
11. その他 ()			

③ 移動の頻度を教えてください。([] に日数を記入)

1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. 月に2～3日
5. 月に1日程度	6. 年に数回程度		

④ 出かけることが多い時間帯を教えてください。
(午前・午後のいずれかに○をつけて、 [] には時刻を記入)

行き (午前)・(午後) [] 時頃	帰り (午前)・(午後) [] 時頃
-------------------------------	-------------------------------

⑤ 移動するときに課題に感じている点があれば教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 特に問題はない
2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気をつかうなど)
3. 目的地に行くバスや鉄道がない
4. バスや鉄道はあるが利用しにくい
5. 移動にお金がかかる
6. 移動に時間がかかる
7. その他 ()

2-2 【よく行く買い物先】

① よく行く買い物先の場所や店舗名を教えてください。(1つに○、カッコの中に直接記入)

1. 買い物のための移動はほとんどしない → **2-3 【よく行く通院先】**に進んでください

2. 小金井市内の店舗⇒ (住所や店舗名)

3. 小金井市外の店舗⇒ (市区町村名や店舗名)

※ 記入例 トヨカト[®]-武蔵小金井店 など

①で2.または3.を選んだ方は以下の②～⑤にもお答えください。

② よく行く買い物先までの交通手段を教えてください。(利用するものすべてに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク・原付 4. 路線バス

5. コミュニティバス 6. 鉄道 7. タクシー 8. 施設等の送迎車

9. クルマ (自分で運転) 10. クルマ (家族等に送迎してもらう)

11. その他 ()

③ 移動の頻度を教えてください。([] に日数を記入)

1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に2～3日

5. 月に1日程度 6. 年に数回程度

④ 出かけることが多い時間帯を教えてください。
(午前・午後のいずれかに○をつけて、 [] には時刻を記入)

<p>行き</p> <p>(午前)・(午後) [] 時頃</p>	<p>帰り</p> <p>(午前)・(午後) [] 時頃</p>
--	--

⑤ 移動するときに課題に感じている点があれば教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 特に問題はない

2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気をつかうなど)

3. 目的地に行くバスや鉄道がない

4. バスや鉄道はあるが利用しにくい

5. 移動にお金がかかる

6. 移動に時間がかかる

7. その他 ()

2-3 【よく行く通院先】

① よく行く通院先の場所や施設名を教えてください。(1つに○、カッコの中に直接記入)

1. 通院のための移動はほとんどしない	→	2-4 【よく行く趣味・娯楽施設】 に進んでください
2. 小金井市内の施設⇒ (住所や施設名)		
3. 小金井市外の施設⇒ (市区町村名や施設名)		
※ 記入例 桜町病院 など		

①で2.または3.を選んだ方は以下の②～⑤にもお答えください。

② よく行く通院先までの交通手段を教えてください。(利用するものすべてに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付	4. 路線バス
5. コミュニティバス	6. 鉄道	7. タクシー	8. 施設等の送迎車
9. クルマ (自分で運転)	10. クルマ (家族等に送迎してもらう)		
11. その他 ()			

③ 移動の頻度を教えてください。([] に日数を記入)

1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. 月に2～3日
5. 月に1日程度	6. 年に数回程度		

④ 出かけることが多い時間帯を教えてください。
(午前・午後のいずれかに○をつけて、 [] には時刻を記入)

行き (午前)・(午後) [] 時頃	帰り (午前)・(午後) [] 時頃
-------------------------------	-------------------------------

⑤ 移動するときに課題に感じている点があれば教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 特に問題はない
2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気をつかうなど)
3. 目的地に行くバスや鉄道がない
4. バスや鉄道はあるが利用しにくい
5. 移動にお金がかかる
6. 移動に時間がかかる
7. その他 ()

2-4 【よく行く趣味・娯楽施設】

① よく行く趣味・娯楽施設の場所や施設名を教えてください。(1つに○、カッコの中に直接記入)

1. 趣味・娯楽のための移動はほとんどしない → 設問 3 に進んでください
2. 小金井市内の施設⇒ (住所や施設名)
3. 小金井市外の施設⇒ (市区町村名や施設名)
※ 記入例 小金井公園 など

①で2.または3.を選んだ方は以下の②～⑤にもお答えください。

② よく行く趣味・娯楽施設までの交通手段を教えてください。(利用するものすべてに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付	4. 路線バス
5. コミュニティバス	6. 鉄道	7. タクシー	8. 施設等の送迎車
9. クルマ (自分で運転)	10. クルマ (家族等に送迎してもらう)		
11. その他 ()			

③ 移動の頻度を教えてください。([] に日数を記入)

1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. 月に2～3日
5. 月に1日程度	6. 年に数回程度		

④ 出かけることが多い時間帯を教えてください。
(午前・午後のいずれかに○をつけて、 [] には時刻を記入)

行き (午前)・(午後) [] 時頃	帰り (午前)・(午後) [] 時頃
-------------------------------	-------------------------------

⑤ 移動するときに課題に感じている点があれば教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 特に問題はない
2. 送迎してもらうのが何かと大変 (自分の時間で動けない、気をつかうなど)
3. 目的地に行くバスや鉄道がない
4. バスや鉄道はあるが利用しにくい
5. 移動にお金がかかる
6. 移動に時間がかかる
7. その他 ()

4 バス（路線バス・コミュニティバス）の評価についておたずねします。

- ・路線バス：一般バス会社（西武、京王、小田急、関東、銀河鉄道等）の運行路線
- ・コミュニティバス：CoCoバスまたはムーバス等、地方自治体（市町村）の運行路線

4-1 小金井市のバス（路線バス・コミュニティバス）について、特に不満と思う項目の番号を、不満な順に3つご記入ください。

いちばん 不満なこと	<input type="text"/>	2番目に 不満なこと	<input type="text"/>	3番目に 不満なこと	<input type="text"/>
(番号を <input type="text"/> に記入)					
1. ルートや運行状況の情報提供		2. バス停の位置(自宅や目的地からの距離)			
3. 運行本数(頻度)		4. 始発バスの時間		5. 最終バスの時間	
6. 時間通りの運行		7. 運賃の金額		8. 運賃の支払い方法	
9. 運行ルート		10. 車内環境(定員、乗り心地)			
11. バス停環境(時刻表、屋根)		12. 他の路線・交通手段との乗継(時間・距離)			
13. わからない					

4-2 今後、小金井市のバス（路線バス・コミュニティバス）を利用しやすくするためには、どのようなサービスが重要だと感じますか。特に重要と思う項目の番号を、重要な順に3つご記入ください。

いちばん 重要なこと	<input type="text"/>	2番目に 重要なこと	<input type="text"/>	3番目に 重要なこと	<input type="text"/>
(番号を <input type="text"/> に記入)					
1. ルートや運行状況の情報提供		2. バス停の位置(自宅や目的地からの距離)			
3. 運行本数(頻度)		4. 始発バスの時間		5. 最終バスの時間	
6. 時間通りの運行		7. 運賃の金額		8. 運賃の支払い方法	
9. 運行ルート		10. 車内環境(定員、乗り心地)			
11. バス停環境(時刻表、屋根)		12. 他の路線・交通手段との乗継(時間・距離)			
13. わからない					

4-3 あなたが重要だと思うサービスがより良くなったり、改善されたりしたら、小金井市の路線バス・コミュニティバスの利用頻度は変わるとお考えですか。
(最も当てはまる1つに○)

1. 今より利用が増える	2. これまでどおり利用する
3. これまでどおり利用しない	4. わからない

5 今後の公共交通の利用意向についておたずねします。

5-1 小金井市における、今後の公共交通の費用負担のありについて、どう思いますか。 (最も当てはまる1つに○)

1. 利用者が負担する
2. 利用者負担を基本に、市の交通施策の費用として、市も一部を負担する
3. 利用者と市に加えて、地域(自治会・町会、商店会、施設等)も一部を負担する
4. 市の交通施策の費用として、市だけが負担する

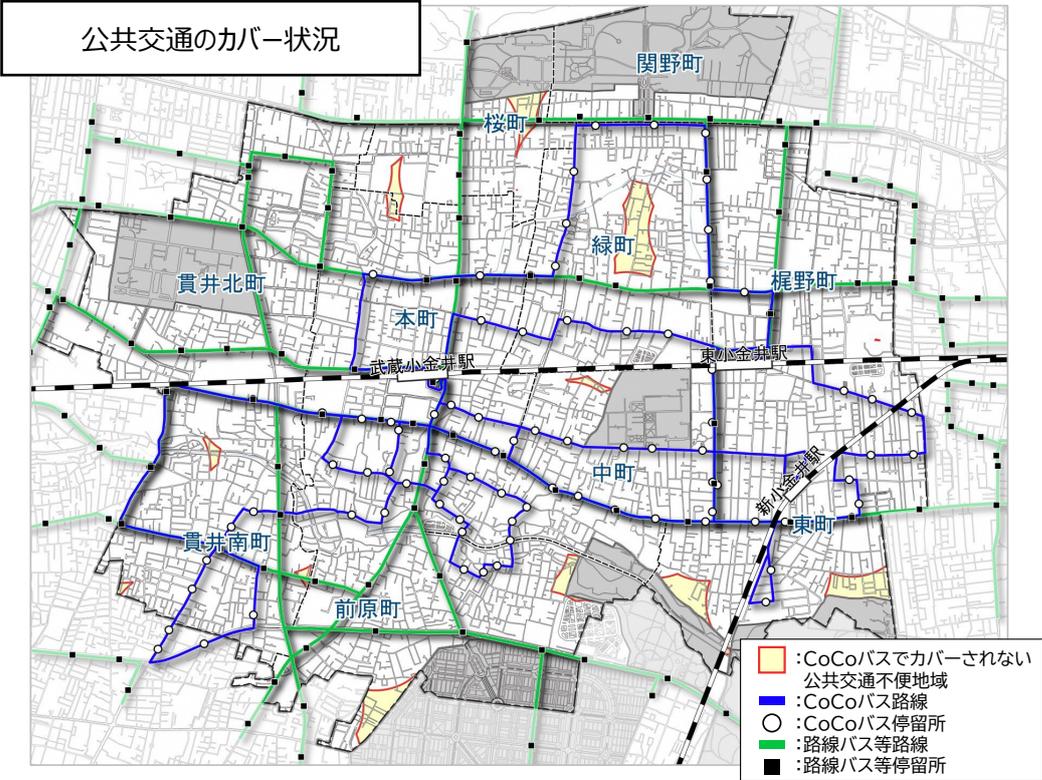
5-2 もし以下のような新しい交通手段や利用するための仕組みが、小金井市に導入されたり普及した場合、利用してみたいと思うものはありますか。 (それぞれ1つずつ○)

	1. ぜひ 利用したい	2. 機会が あれば 利用したい	3. 料金に よっては 利用したい	4. 利用 しないと思う
新しい交通手段				
(ア) シェアサイクル どこでも借りられて好きな場所で返せる、電動アシスト自転車の共有サービス	1	2	3	4
(イ) 電動キックボードのシェアリング どこでも借りられて好きな場所で返せる、電動キックボードの共有サービス(16歳以上のみ利用可能)	1	2	3	4
(ウ) カーシェアリング 近くの民間駐車場などから、共有の自動車を必要な時だけ借りるサービス	1	2	3	4
(エ) タクシーの相乗り スマートフォンのアプリやWEBを利用して、行き先や経路が同じ人がタクシーに相乗りし、運賃を割り勘するサービス	1	2	3	4
(オ) タクシーのエリア定額乗り放題 期間を決めて事前に一定金額を支払い、特定の区域や期間の中で乗り放題になるサービス	1	2	3	4
(カ) 小型車両による移動サービス 乗車定員10人以下の車両を用いた、駅やバス停が遠いなど公共交通が不便な地域をカバーする移動サービス	1	2	3	4
利用するための仕組み				
(キ) 民間の移動サービスを束ねたエリア定額乗り放題 鉄道・バス・タクシー・シェアサイクル等の移動サービスに、期間を決めて事前に一定金額を支払うことで特定の区域や期間の中で乗り放題になるサービス	1	2	3	4
(ク) 民間の移動サービスを一括で予約できるシステム 鉄道・バス・タクシー・シェアサイクル等の移動サービスが、スマートフォンのアプリ等を使って一括で経路検索・予約ができるシステム(MaaS)	1	2	3	4
(ケ) 様々なシェアリングサービスを一か所で借りられる拠点 シェアサイクル・電動キックボード等の様々な移動サービスが、一か所に集まり、選べる拠点(マルチモビリティステーション)	1	2	3	4

小金井市の公共交通などを取り巻く状況について

アンケートにお答えいただく前に、小金井市の公共交通などを取り巻く状況について、下記をご覧ください。

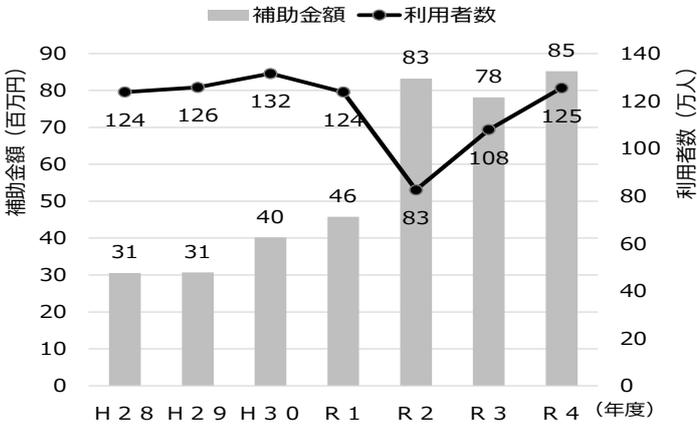
- 小金井市では、JR 中央線・西武多摩川線、多くの路線バスが地域の移動の足を担っています。しかし、道路幅員が狭い箇所も多く、このような地域の移動をカバーするため、令和 5 年 4 月にコミュニティバス（CoCo バス）の運行路線を再編し、公共交通不便地域の多くをカバーしています。



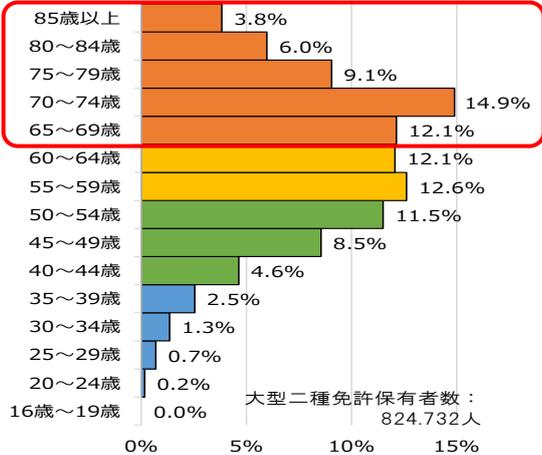
※公共交通不便地域：鉄道駅から500m（新小金井駅は300m）以遠かつ、1日の運行本数が20便以上の路線バス停留所から300m以遠の地域

- 一方で、CoCo バスの運行は市による補助により成り立っており、生活様式の変化による利用者数の減少、燃料代や人件費の高騰により、市の財政負担は増加しています。
- あわせて、バスやタクシーではドライバーの高齢化が進行し、今後もより一層ドライバー不足が深刻になると見込まれています。限られた資源を活用し、公共交通のあり方や維持し続ける方法を検討する必要があります。

コミュニティバス利用者数と補助金額



年齢階層別大型二種免許保有者数の割合(全国)

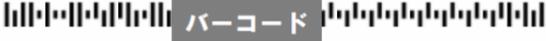


出典：小金井市資料（ムーバス境・東小金井線含む）
※ムーバス境・東小金井線は、決算額の4割を小金井市、6割を武蔵野市で負担

出典：警察庁「運転免許統計」（令和3年版）より作成

路線バス利用者アンケート調査票

【表面】

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1 0 1 - 8 7 9 5</div>	
差出有効期間 2023年 12月31日まで (切手不要)		東京都千代田区神田錦町三丁目2番地 パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通政策部 「路線バス利用者へのアンケート調査」行	
			
利用者アンケート調査への協力をお願い			
小金井市では、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築と、移動利便性向上の検討にあたり、公共交通を利用する皆さまに対してアンケート調査を実施しています。 なお、調査結果はすべて統計的な数値として取りまとめの上で公表されますので、個人情報に関わる内容が公表されることは、一切ございません。 アンケート調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。			
問合せ先 ◆本調査に関すること 小金井市 都市整備部 交通対策課 担当：越 電話：042-387-9850 (直通) 受付時間：8:30-17:15 ◆調査票の内容や回答方法に関すること パシフィックコンサルタンツ株式会社 (調査委託先) 担当：徳永、田鶴 電話：0120-068-226 受付時間：10:00-17:00		QRコード 	
[] 内に記入またはそれぞれひとつに○をつけてください。 問1.あなたについて教えてください。			
①住所	お住まいの地域の郵便番号 [<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>]		
②年齢	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上		
③職業	1. 会社員 2. 自営業 3. 専業主婦・主夫 4. 公務員 5. 学生 6. パート・アルバイト 7. その他 [<input type="text"/>]		
④運転免許は保有していますか？	1. 現在保有している 2. 以前持っていたが、現在は保有していない 3. 一度も保有したことはない		
⑤あなたが自由に利用できる自動車・自転車はありますか？	ア.自動車 1. 保有している 2. 家族で共用 3. 保有していない イ.自転車 1. 保有している 2. 家族で共用 3. 保有していない		

【裏面】

問2. 今回の路線バスの利用について教えてください。

①乗車バス停	[<input type="text"/>]	②降車バス停	[<input type="text"/>]
③移動の目的	1. 通勤 2. 業務(商談、納品) 3. 通学(塾を含む) 4. 買い物 5. 通院 6. レジャー・娯楽 7. その他 [<input type="text"/>]		
④移動の最終目的地	市内の場合は施設名または住所(丁目)、市外の場合は市区町村名 [<input type="text"/>]		
⑤支払い方法	1. 現金 2. ICカード(1回利用) 3. ICカード(定期券) 4. 紙式定期券 5. シルバーパス 6. その他		

問3. あなたの普段の路線バスの利用について教えてください。

①あなたが普段、小金井市内で路線バスを利用する頻度はどのくらいですか？			
1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に2~3日 5. 月に1日程度 6. 年に数回程度 7. 今回初めて利用する			
②小金井市内で路線バスを最も利用している曜日や時間帯はいつですか？			
ア.曜日	1. 平日	2. 土日祝日	イ.時間帯 [<input type="text"/>] 時台

問4. 小金井市内の路線バスの評価について教えてください。

①路線バスのサービスに対する満足度はどのくらいですか？			
1. 十分満足している 2. ある程度満足している 3. 普通 4. 少し不満がある 5. 大いに不満がある			
②下記の1~12の項目で、特に 不満 と思う項目の番号を不満な順に3つご記入ください。			
1番目	[<input type="text"/>]	2番目	[<input type="text"/>]
3番目	[<input type="text"/>]		
③下記の1~12の項目で、特に 重要 と思う項目の番号を、重要な順に3つご記入ください。			
1番目	[<input type="text"/>]	2番目	[<input type="text"/>]
3番目	[<input type="text"/>]		

項目の選択肢

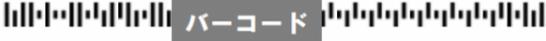
1) ルートや運行状況の情報提供 2) バス停の位置(自宅や目的地からの距離)
 3) 運行本数(頻度) 4) 始発バスの時間 5) 最終バスの時間
 6) 時間通りの運行 7) 運賃の金額 8) 運賃の支払い方法
 9) 運行ルート(循環ルート) 10) 車内環境(定員、乗り心地)
 11) バス停環境(時刻表、屋根) 12) 他の路線・交通手段との乗継時間・距離
 13) わからない

路線バスの改善して欲しい点や路線バスに関してご意見があればご自由に記入ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>			
---	--	--	--

質問は以上です。ご協力をありがとうございました。
9月30日までに、ポストに投函ください。切手のはりつけは不要です。

CoCo バス利用者アンケート調査票

【表面】

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1 0 1 8 7 9 5</div>	
差出有効期間 2023年 12月31日まで (切手不要)		東京都千代田区神田錦町三丁目2番地 パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通政策部 「CoCoバス利用者へのアンケート調査」行	
			
利用者アンケート調査への協力をお願い			
小金井市では、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築と、移動利便性向上の検討にあたり、公共交通を利用する皆さまに対してアンケート調査を実施しています。 なお、調査結果はすべて統計的な数値として取りまとめた上で公表されますので、個人情報に関わる内容が公表されることは、一切ございません。 アンケート調査の趣旨をご理解いただき、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。			
問合せ先 ◆本調査に関すること 小金井市 都市整備部 交通対策課 担当：越 電話：042-387-9850 (直通) 受付時間：8:30-17:15 ◆調査票の内容や回答方法に関すること パシフィックコンサルタンツ株式会社 (調査委託先) 担当：徳永、田鶴 電話：0120-068-226 受付時間：10:00-17:00		QRコード 	
[] 内に記入またはそれぞれひとつに○をつけてください。			
問1.あなたについて教えてください。			
①住所	お住まいの地域の郵便番号 [<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>]		
②年齢	1. 19歳以下 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上		
③職業	1. 会社員 2. 自営業 3. 専業主婦・主夫 4. 公務員 5. 学生 6. パート・アルバイト 7. その他 [<input type="text"/>]		
④自動車運転免許は保有していますか？	1. 現在保有している 2. 以前持っていたが、現在は保有していない 3. 一度も保有したことはない		
⑤あなたが自由に利用できる自動車・自転車はありますか？	ア.自動車 1. 保有している 2. 家族で共用 3. 保有していない イ.自転車 1. 保有している 2. 家族で共用 3. 保有していない		

【裏面】

問2. 今回のCoCoバスの利用について教えてください。

①ルート	乗り継いだ場合は複数に○ 1. 北東部循環 2. 貫井前原循環 3. 東町循環 4. 中町循環 5. 野川・七軒家循環		
②乗車バス停	[<input type="text"/>]	③降車バス停	[<input type="text"/>]
④移動の目的	1. 通勤 2. 業務(商談、納品) 3. 通学(塾を含む) 4. 買い物 5. 通院 6. レジャー・娯楽 7. その他 [<input type="text"/>]		
⑤移動の最終目的地	市内の場合は施設名または住所(丁目)、市外の場合は市区町村名 [<input type="text"/>]		
⑥支払い方法	1. 現金 2. ICカード 3. 1日乗車券 4. 高齢者専用回数券(水色) 5. 一般回数券(黄色)		

問3. あなたの普段のCoCoバスの利用について教えてください。

①あなたが普段、CoCoバスを利用する頻度はどのくらいですか？

1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に2~3日
 5. 月に1日程度 6. 年に数回程度 7. 今回初めて利用する

②あなたがCoCoバスを最も利用している曜日や時間帯はいつですか？

ア.曜日	1. 平日 2. 土日祝日	イ.時間帯	[<input type="text"/>] 時台
------	------------------	-------	-----------------------------

問4. CoCoバスの評価について教えてください。

①CoCoバスのサービスに対する満足度はどのくらいですか？

1. 十分満足している 2. ある程度満足している 3. 普通
 4. 少し不満がある 5. 大いに不満がある

②下記の1~12の項目で、特に**不満**と思う項目の番号を不満な順に3つご記入ください。

1番目 [<input type="text"/>]	2番目 [<input type="text"/>]	3番目 [<input type="text"/>]
------------------------------	------------------------------	------------------------------

③下記の1~12の項目で、特に**重要**と思う項目の番号を、重要な順に3つご記入ください。

1番目 [<input type="text"/>]	2番目 [<input type="text"/>]	3番目 [<input type="text"/>]
------------------------------	------------------------------	------------------------------

項目の選択肢

1) ルートや運行状況の情報提供 2) バス停の位置(自宅や目的地からの距離)
 3) 運行本数(頻度) 4) 始発バスの時間 5) 最終バスの時間
 6) 時間通りの運行 7) 運賃の金額 8) 運賃の支払い方法
 9) 運行ルート(循環ルート) 10) 車内環境(定員、乗り心地)
 11) バス停環境(時刻表、屋根) 12) 他の路線・交通手段との乗継時間・距離
 13) わからない

CoCoバスの改善して欲しい点やCoCoバスに関してご意見があればご自由に記入ください。

質問は以上です。ご協力をありがとうございました。
9月30日までに、ポストに投函ください。切手のはりつけは不要です。

京王電鉄バス株式会社
京王バス株式会社

京王電鉄バスグループ（多摩地区）の 上限運賃変更認可申請について

京王電鉄バス株式会社および京王バス株式会社（本社：東京都府中市、代表取締役社長 宮坂周治）では、本日、国土交通省関東運輸局長宛てに多摩地区の乗合バス運賃の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃よりご利用いただいておりますお客様には、ご負担をおかけいたしますが何卒事情をご賢察のうえご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

弊社グループはこれまで「輸送の安全の確保」を最優先に掲げ、車両における安全装置（デジタルタコグラフやドライブレコーダー）の搭載や同装置を活用した乗務員への安全教育、接客サービスの向上や輸送力の確保など、安心・快適なサービス提供を継続してまいりました。弊社グループの多摩地区においては、1997年4月の運賃改定以来（消費税率改定等によるものを除く）、26年間という長期にわたり、企業努力によって運賃を変更することなく事業を継続してまいりました。

しかしながら、事業環境は、少子高齢化やマイカー・自転車などとの競合に加え、近年ではコロナ禍による在宅勤務やオンライン授業の実施など、新しい生活様式の定着による移動需要自体の低迷により、収入面におきまして極めて厳しい状況となっております。

さらに支出面においても、深刻なバス運転士不足による要員確保や処遇改善にともなう人件費の増加、燃料費の高騰、環境に配慮した新型車両の導入費増など、環境の変化への対応によるコストの増加は、収入の減少と併せて事業経営を圧迫しており、今後もさらなる人件費と安全設備への投資の増加が見込まれます。

このような厳しい事業環境下においても、公共交通事業者の使命としてお客様に安心・快適なサービスの提供を維持するためには、さらなる経営努力に加え、運賃改定が必要であると判断し上限運賃の変更を申請いたしました。

2. 申請内容

- (1) 申請日 2023年 5月19日
- (2) 運賃改定実施予定日 2023年 9月16日 (予定)
- (3) 申請対象路線 弊社グループ多摩地区全路線
- (4) 上限運賃の平均改定率 京王電鉄バス 21.1% 京王バス 22.7%

なお、実施運賃に関しては、上限運賃より低額な実施運賃といたします。

実際の平均改定率は、実施運賃では10%程度を予定しております。

(5) 現行・申請運賃比較表

	現行運賃		実施運賃 (予定) ※1※2		申請上限運賃※3	
	現金	IC	現金	IC	現金	IC
初乗り運賃	180円	178円	200円	200円	230円	230円
同定期券 (通勤1ヶ月)	8,050円		8,940円		10,290円	

※1 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

※2 なお実施運賃は、一定期間の暫定運賃とし、暫定期間終了の際は初乗り運賃を210円とする予定です。暫定期間終了の時期は2025年3月以降を予定しておりますが、その際は改めてお知らせいたします。

※3 申請上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

(6) 主要区間の運賃対比表

区間	片道運賃				定期券運賃 (通勤一ヶ月・大人)	
	現行運賃		実施運賃 (予定)		現行運賃	実施運賃
	現金	IC	現金	IC		
府中駅～ 国分寺駅南口	220円	220円	240円	240円	9,840円	10,730円
八王子駅北口～ 日野自動車前	280円	273円	310円	310円	12,520円	13,860円
聖蹟桜ヶ丘駅～ 由木折返場	330円	326円	360円	360円	14,760円	16,100円

3. 輸送人員および収支状況（多摩地区）

		京王電鉄バス株式会社 京王バス株式会社 2社合算値	
		輸送人員	収支状況
2021年度（申請実績年度）		55百万人	△465百万円
2023年度 （平年度）	改定前	60百万人	△2,679百万円
	改定後	57百万人	△1,081百万円

※2023年度（改定後）の輸送人員および収支状況は、申請（上限）運賃での年間の推計数値です。

4. これまでの経営合理化状況および今後の取り組み

弊社ではこれまでも組織再編による事業運営の合理化、運行ダイヤの効率化、車両使用期間延長による投資額の削減、整備業務の内製化などを通じた外注修繕費用の削減、アイドリングストップによる燃料費の削減などに努めてまいりました。

一方で、路線実態に応じた運行計画の見直しによる収支改善策や、関連収入の確保策としてバスターミナル東京八重洲の運営など積極的に取り組んでまいりました。

今後もコロナ禍による生活様式の変化に対応した運行ダイヤの見直しやDX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の効率化など、さらなる改善を図り事業を継続してまいります。

5. 安全対策への取り組み

弊社グループでは、「輸送の安全の確保」を最優先とした取り組みを続けております。ソフト面での対応としまして、乗務員への安全教育を徹底しているほか、教育を専門としている乗務員経験者から運転操作や心構えなどの「技能伝承」を行っております。ハード面ではドライバーの異常時対応システム（EDSS）搭載バスの導入や、モバイルアイ（衝突防止補助システム）の取り付けなど積極的に投資をしております。また、全乗務員に対して睡眠時無呼吸症候群の検査の実施や、定期的な脳ドックの実施などを通じて、健康起因の事故を未然に防ぐ取り組みも行っております。

今後もデジタル技術を活用した新たな安全機器の導入を検討するなど、引き続き積極的に投資を進め、安全の確保に取り組んでまいります。

6. サービス向上への取り組み

弊社グループでは、従来から継続して取り組みを行っているCS教育に基づくお客様へのきめ細やかな接遇、モニター添乗員による添乗制度の実施や車載アンケートによるお客様のお声の収集のほか、土日祝日や学校の長期休暇期間中に小学生以下のお客様に50円でバスをご利用いただける「ちびっこ50円」や、通勤定期をお持ちの方に同伴されるご家族は休日に割引運賃でバスをご利用いただける「休日家族割引」などの運賃割引制度を実施してまいりました。また、交通系ICカードの導入、金額式IC定期券「モトクパス」やIC一日乗車券の発売、年度通学定期券の新設など、サービス向上に努めてまいりました。

今後も、ノンステップバスの導入、バス運行状況情報システムの機能改善、バス総合案内板のデ

デジタルサイネージ化、決済手段の多様化に向けたキャッシュレス決済の検討など、お客様がご利用しやすい京王バスを目指してまいります。

7. 今後の社会的課題への対応

弊社グループでは、今後の社会的課題でもある脱炭素化にむけて、燃料電池バスの導入促進や電気バスの導入を行っていくほか、労働力不足解消のため、連節バスやダブルデッカー車の導入など、バス1両あたり、乗務員1名あたりの輸送力を向上させる取り組みを推進してまいります。

また、自動運転などの実証実験への参画を行うなど、これらの様々な社会的課題への対応に積極的に取り組んでまいります。

お問い合わせ先

京王電鉄バス株式会社

運輸営業部 営業企画担当

TEL : 042-352-3723

までお願いいたします。